

川越北小学校コンピューター室等改修工事

設 計 図

図面リスト		図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	<建築工事>		<電気設備工事>		<機械設備工事>
A-01	特記仕様書（1）	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	機械設備工事 特記仕様書（1）
A-02	特記仕様書（2）	E-02	盤図（改修前・後）	M-02	機械設備工事 特記仕様書（2）
A-03	特記仕様書（3）	E-03	電気設備平面図 2階教材室（撤去・改修）	M-03	空調・換気機器表
A-04	特記仕様書（4）	E-04	3階 特別教室電灯設備図（改修後）	M-04	機械設備 1階・2階平面図
A-05	特記仕様書（5）	E-05	3階 コンセント設備図（改修後）	M-05	空調換気設備 3階平面詳細図（改修後）
A-06	平面詳細図 3階特別教室（改修前）	E-06	3階 電灯設備平面図（改修前）	M-06	空調換気設備 3階平面詳細図（改修前）
A-07	平面詳細図 3階特別教室（改修後）	E-07	3階 コンセント設備平面図（改修前）		
A-08	天井伏図 3階特別教室（改修前）	E-08	3階 弱電設備図（改修前・後）		
A-09	天井伏図 3階特別教室（改修後）				
A-10	展開図（1） 3階特別教室（改修前）				
A-11	展開図（2） 3階特別教室（改修後）				
A-12	展開図（3） 3階特別教室（改修後）				
A-13	展開図（4） 3階特別教室（改修後）				
A-14	平面図 2階教材室（撤去・改修）				

株 式 会 社 田 端 隆 建 築 設 計

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称

川越北小学校 コンピューター室等改修工事

II. 工事概要

1 工事場所

三重県三重郡川越町大字豊田一色69番地 地内

2 敷地面積

-

3 工事内容

棟名称

川越北小学校

構造

鉄筋コンクリート造

建築面積

-

延べ面積

-

工事項目

内部改修工事

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和4年7月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目を示す。

章

項目

特記事項

1一般共通事項

1適用基準等

1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和7年版）
2）建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

2施工条件

(1. 3. 5)
・ 監督員と協議し決定する。
施工可能日
・ 指定なし
・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり
施工可能時間帯
・ 指定なし
・ 時 ～ 時
概成工期
・ 指定なし
・ 年 月 日

3部分引渡し、部分使用

・ 部分引き渡しあり
・ 部分使用あり
指定部分（ ）
時期（ 年 月 日～ ）

4埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。
・ 発掘調査等の実施あり
・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり

5発生材の処理等

(1. 3. 12)
・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

・ 引き渡しを要するもの
・ 特別管理産業廃棄物
○ 水取使用製品産業廃棄物
・ 現場において再利用を図るもの
○ 再資源化を図るもの
○ コンクリート塊
○ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材

成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。

6建設副産物情報交換システムへの登録

請負金額100万円以上の工事において、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ提出すること。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

7三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

8電気保安技術者

(1. 3. 3)
配置する

9技能士

(1. 7. 2)
職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

10施工数量調査

(1. 6. 2)
調査範囲及び調査方法
・ 工種別の特記による

11調査のための破壊部分の補修

(1. 6. 3)
補修方法
・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

12

建築材料等

1） 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。
2） 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。
3） 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。
4） 本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製製品及び「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」の優先利用に努めること。
5） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
6） 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
（認定製品の品名： ）
7） 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。
認定製品の品名： ・ 間伐材製工事用バリエード ・ 間伐材工事用看板 ・ 間伐材標示板 ・ （ ）

測定対象化学物質（●で示したものととする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ○（国際教室・通級指導教室）
測定方法（ ○ パッシブ法 ・ アクティブ法）
測定時期（ ）
報告書提出部数 2部
改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部（令和3年版）)に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

作成する（ ○ 完成図 ○ 保全に関する資料 ○（ A 3製本2部・C A Dデータ ） ）
完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）
完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。（ A 4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
・ アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 1部

工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数 ○ 2部 ・ 部）
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数 ○ 2部 ・ 部）

施工範囲
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ

施工図
○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事現場を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。

暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について
1） 受注者は暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

2） 1)により所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。

3） 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

1） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事

2） 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

1） 技術者要件
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。

2） 専任を要しない期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。

（2） 検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

28

工事の一時中止

工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン」（平成29年7月 三重県県土整備部）による。
三重県建設工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 Vo=34 m/s
地表面粗度区分（ ・ II ○ III）
積雪区分（ 30 ）cm

三重県建設工事請負契約書52条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。

1） 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
2） 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間
3） 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

1） 一般事項
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2） 調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3） 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33 技術検査
実施回数 ・ 回 実施する段階 ・ （ ）

34 保全に関する資料
・ （ ）

35 屋外広告物
屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

36 社会保険等未加入対策
適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

37 現場での安全確保(自主施工原則)
受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
設計図面に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

38 電子メールの活用
「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年11月」を適用する。
（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）

39 設計図書の照査
三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

2

仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策

(2. 1. 3)
・ 防音バネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）

2 足場等 (2. 2. 1)
足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。
外部足場 ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
防護シート ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない
内部足場 ○ 設置する（○ 脚立足場 ） ・ 設置しない

(表2. 2. 1)
材料、撤去材等の運搬方法
種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ）
C種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段（ ）

令和4年1月2日以降に高さ5m以上の箇所で作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能落制止用器具はフルハーネス型とし、「落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。

3 既存部分の養生 (2. 3. 1)
既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ （ ）
固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 行う ・ 行わない

4 仮設間仕切り (2. 3. 2)
(表2. 3. 1)
屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種
合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ）
せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ）
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない

仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ （ ）

備考

設計代表者

一級建築士
№352551
田端進也

設計担当者

一級建築士
№352551
田端進也

SCALE
A 3 : No Scale
DATE
R 7, 1 1

工事名称

川越北小学校 コンピューター室等改修工事

図面名称

特記仕様書 1

A-O1
原図：A3

田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 №352551 田端 進也

5 監督員事務所
(2.4.1)

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する
監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り

6 監督員事務所の設備、備品等
(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

7 仮設住所

8 工事用水

9 工事用電力

10 交通誘導準備員

配置 ・ 図示(図面番号:)

3 防水改修工事

1 既存防水層の処理
(3.1.4)(3.2.6)

既存保護層(立上り部等)の撤去
・ 行う(・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・POX)
・ 行わない
既存防水層(立上り部等)の撤去
・ 行う(・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・MAS・MASI・S4S・S4SI・POX)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う(・M4AS・M4SI・M4C・M4DI・L4X)
・ 行わない

2 既存下地の処理
(3.2.6)

既存下地の補修箇所の計上、長さ、数量等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
POS工法、POSI工法(機械固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
・ 改修標準仕様書[3.2.6(4)(ウ)①～③] ・ ()
設備機器架台、配管受部、バラベント、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口等及び防水層末端部の納まり部の処理 ・ 監督員と協議する ・ ()

3 アスファルト防水
(3.3.2)～(3.3.5)(表3.3.3)～(表3.3.10)

押え金物の材質、形状及び寸法
・ アルミニウム製(L-30×15×2.0mm程度) ・ ()
屋根保護防水防水層の種類

工 法	種 別	断熱材	絶縁用シート	立上り部
				保護断熱材、絶縁シート
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3		・オリエンタルフィルム(0.15mm以上)	・乾式保護材
・P1B	・B-1 ・部分粘着 ・砂付 ・B-2 ・部分粘着 ・砂付		・フラットペーパー(70kg/㎡程度) ・ ()	・コンクリート押え ・れんが押え ・モルタル押え
・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	・ (mm)	・フラットペーパー(70kg/㎡程度) ・ ()	・ 設置する
・P1BI	・B-1 ・部分粘着 ・砂付 ・B-2 ・部分粘着 ・砂付			・ 設置しない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ ()
平場の保護コンクリート
こて仕上げ 厚さ ・ 水下80mm以上 ・ ()
平坦さ ・ a種 ・ b種 ・ c種
床タイル張り 厚さ ・ 水下60mm以上 ・ ()
屋根排水溝 ・ 図示(図面番号:)

屋根露出防水防水層の種類

工 法	種 別	断熱材	仕上塗料	備 考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・PODI ・M3DI ・M4DI	・D1-1 ・D1-2	種類()	・製造所の仕様 厚さ()	・製造所の仕様 ・ ()

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数 ・ ()
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示()

屋内防水防水層の種類

工 法	種 別	保護層
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	・ 設ける ・ 設けない

E-1の工程3を行う部位 ・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ()

4 改質アスファルトシート防水
(3.4.2)(3.4.3)(表3.4.1)～(表3.4.3)

防水層の種類

工 法	種 別	断熱材	仕上塗料	備 考
・M4AS ・POAS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	種類() 厚さ()	・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ()
粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
・ 改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ()
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
数量 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ()
設置数量 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ()
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート ・ 設置する ・ 設置しない
押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×20mm程度 ・ ()

5 合成高分子系シート防水ルーフィング
(3.5.2)～(3.5.4)(表3.5.1)～(表3.5.3)

屋根防水防水層の種類

工 法	種 別	断熱材	仕上塗料	備 考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・S3S	・S-F1 ・S-F2		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・M4S	・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2	種類() 厚さ()	・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()

ルーフィングシートの厚み(・S-F2、S-M2)
・ 乾歩行(・POS・S4S・S3S・M4SI)
・ 非歩行(・POS・S4S・S3S・M4SI)
防湿用フィルム(SI-F2、SI-M2) ・ 設置する ・ 設置しない
ルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書 表3.5.1～3.5.3までによる ・ ()
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート ・ ()
固定金具の材質及び寸法形状
・ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、スチール鋼板又は樹脂積層加工した鋼板 ・ ()
脱気装置の種類及び設置数量 ・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ ()
接着工法の目地処理 ・ プレキャストコンクリート下地(・プレキャストコンクリート部材の入隅部の増強)(・種類S-F1、SI-F1の場合) ・ 行う ・ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
・ 建築基準法に基づき定まる風圧力の() 倍の風圧力に対応した工法

6 塗膜防水
(3.6.3)(表3.6.1)～(表3.6.3)

屋内防水防水層の種類

工 法	種 別	平場のモルタル塗り 塗り厚さ	立上り部の保護モルタルの塗厚
・P1S	・S-C1	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	・7mm以上 ・ ()

床塗りの場合の床の目地
目地割り(・2㎡程度 最大目地間隔3㎡程度) ・ ()
目地の種類(・押し目地) ・ ()

7 シーリング
(3.7.2)(表3.7.1)(3.7.4)～(3.7.8)

屋根防水防水層の種類

工 法	種 別	仕上塗料	備 考
・POX	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H	・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()
・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H	・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()

ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量
・ 主材の製造所の仕様 ・ ()

屋内防水防水層の種類

工 法	種 別	保護層
・P1Y ・P2Y	・Y-2 ・Y-2	・ 設ける ・ 設けない

材料

種類	材 種	施工箇所
・SR-1	シリコーン系	
・MS-2	変成シリコーン系	
・PS-2	ポリサルファイド系	
・PU-2	ポリウレタン系	

工 法
・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法
・ 拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

8 とい
(3.8.2)(表3.8.1)(表3.8.2)

材 種
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)
・ ()
・ 配管用鋼管(白管)
・ ()
とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔
工 法	・ 図示(図面番号:)	

9 アルミニウム製
笠木
(3.9.2)(3)(表3.9.1)(3.9.3)(2)(3.9.2)(4)(3.9.3)

部材の種類
・ 押出し250形
・ 押出し350形
・ 押出し300形
・ 板材折曲げ形(本体幅()mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())
固定金具の間隔(mm)
固定方法
・ ()
表面処理
・ ()
工 法
・ 既存笠木の撤去
・ 図示(図面番号:)
・ 下地補修の工法
・ 図示(図面番号:)
・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法
・ 図示(図面番号:)
・ 笠木固定金具の工法
・ 図示(図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

・ 行う
・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目
・ ひび割れ部(・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法
・ 打診、目視及びクラックスケール等(・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類
(4.1.4)(4.1.5)

外 壁	種 類	改修工法
・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ モルタル塗り仕上げ 外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法
	目地	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 被覆仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

3 改修工法等
(4.2.4)(1)(4.2.5)(4.3.6)(4.4.6)(4.2.4)(2)(4.2.6)(4.3.7)(4.2.4)(3)(4.2.7)(4.3.8)(4.2.4)(4)(4.2.8)(4.3.9)(4.3.5)(5)(4.3.10)

・ 樹脂注入工法
種類
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量() 注入間隔()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量() 注入口間隔()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量() 注入口間隔()
コア抜取検査
・ 行う
・ 行わない
・ 抜取り個数()
・ 抜取り部分補修方法()
・ Uカットシール材充填工法
材 料
・ シーリング用材充填 (・PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とうエポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う
・ 行わない
・ シール工法
材 料
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とうエポキシ樹脂
・ 充填工法
材 料
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・ モルタル塗替え工法
材 料
・ 現場調査材料
・ 既調合材料
・ 既製目地材の適用及び形状()
・ 仕上げ厚()

備 考

設計担当者
一級建築士
No.352551
田端進也

設計担当者
一級建築士
No.352551
田端進也

SCALE
A3 : No Scale
DATE
R7, 1 1

工事名称
川越北小学校 コンピューター室等改修工事
図面名称
特記仕様書 2

A-02
原図: A3

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

(4.3.5) (6)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法				
(4.3.11) (4.4.9) (図4.3.1)	アンカーピンの本数 ・ 標準 ()				
	材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()				
(4.3.5) (6)	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法				
(4.3.12) (4.4.10) (図4.3.2)	アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()				
	材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()				
(4.3.5) (6)	アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法				
(4.3.13) (4.4.11) (図4.3.2)	アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()				
	材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()				
(4.3.5) (7)	注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法				
(4.3.14) (4.4.12) (図4.3.3)	注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()				
	材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()				
	呼び径 ・ 6mm ・ ()				
(4.3.5) (7)	注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法				
(4.3.15) (4.4.13) (図4.3.4)	注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()				
	材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()				
	呼び径 ・ 6mm ・ ()				
(4.3.5) (7)	注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法				
(4.3.16) (4.4.14) (図4.3.4)	注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()				
	材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()				
	・ 注入口付アンカーピン (ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())				
	呼び径 ・ 6mm ・ ()				
(4.4.15)	注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法				
	注入口付アンカーピンの本数 ・ ()				
	材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()				
	呼び径 ・ 6mm ・ ()				
(4.4.5)	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法				
	材料				
	施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別
	・ 役物 (一体成型 ・ 接着加工)				
	外壁タイル接着張りのシーリング材				
	打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ・ ()				
	伸縮調整目地及びその他の目地 ・ ()				
(4.4.7)	・ タイル部分張替え工法				
	張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル				
	・ 接着剤 (一液反応硬化形成シリコーン樹脂) (目地詰め ・ 有り ・ 無し)				
	一か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える箇所 ・ 有り ・ 無し				
(4.4.5)	・ タイル張替え工法				
(4.4.8) (表4.4.2)	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	備考	
	・ 外装 タイル	小口平二丁掛100角	・ 密着張り	・ 現場調合モルタル	
			・ 改良圧着張り	・ 既調合モルタル	
		小口以上二丁掛け以下	・ 接着剤張り	目地詰め ・ 有り ・ 無し	
	・ ユニットタイル	50二丁掛以下	・ マスク張り	・ 現場調合モルタル	
			・ モザイクタイル貼り	・ 既調合モルタル	
			・ 接着剤張り	目地詰め ・ 有り ・ 無し	
(4.4.8) (3)	試験張り ・ 行う ・ 行わない				
	見本焼き ・ 行う ・ 行わない				
(4.4.8) (8)	有機系接着剤張りのコンクリート素地面の地下処理の方法 ・ ()				
	下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない				
(4.4.5) (5)	・ 目地ひび割れ部改修工法				
(4.4.16)	・ 伸縮調整目地改修工法				
	伸縮調整目地 (位置 寸法 ×)				
	検査 シーリング接着性試験 ・ 行う (簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)				
4 塗り仕上げ (4.5.4)	既存塗膜等の除去及び下地処理				
	工法	処理範囲			
	・ サンダー工法				
	・ 高圧水洗工法				
	・ 塗膜はく離剤工法				
	・ 水洗い工法 (・ デッキブラシ ・ 高圧ポンプ)				
(4.5.5)	下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()				
(4.5.2) (表4.5.1 (その1) (その2))	種 類	呼び名	仕上げ形状	工法	備考
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け	
			・ ゆず肌状		
			・ 平たん状	こて	
			・ 凹凸状		
			・ ゆず肌状	ローラー	
			・ さざ波状		
			・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	
			・ こて		
		・ ()	・ ()		
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し	吹付け	
			・ 凸部処理		
			・ 平たん状		
			・ 凹凸状	こて	上塗材
			・ ひき起し		・ セメントスタッコ
			・ 掻き落とし		・ ()
		・ 外装厚塗材Si	・ 吹放し	吹付け	
		・ 外装厚塗材E	・ 凸部処理		
			・ 平たん状		
			・ 凹凸状	こて	
			・ ひき起し	・ ローラー	
			・ 掻き落とし		
	複層仕上塗材	・ 複層塗材E	・ ゆず肌状	ローラー	耐候性
		・ 複層塗材RE			
		・ 防水形複層塗材E	・ 凸部処理	吹付け	・

12

木製建具
(5. 7. 2)

含水率 ・ A種 ・ B種
○フラッシュ戸 表面材 ○ (図示)
厚み ・ 改修標準仕様書5. 7. 6 ○ (図示)
表面材の品質等 ○ 改修標準仕様書16. 7. 2(2) (イ) (a)～(g) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ ()
かまち及び鏡板の樹種 ・ ()
・ ふすま 見込み寸法 ・ 19. 5mm ・ ()
種別 ・ I 種 ・ II 種
ふすま紙の上張り種類 ・ ()
縁の仕上げ ・ ()
・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書5. 7. 6 ・ ()
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5. 7. 2(2) (イ) (a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
上張りの種類 ・ ()
・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
枠及びくつずりの材料 ・ ()

13

建具用金物
(5. 8. 2)
(5. 8. 4)

金物の見え掛かり部等の材質等
・ 改修標準仕様書(表5. 7. 1)による
・ 図示(図面番号:)
マスターキー ○ 製作する ・ 製作しない

引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

14

自動ドア開閉装置
(5. 9. 2)
(5. 9. 3)(表5. 9. 4)
(5. 9. 3)(9)

駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 車椅子使用者用便所出入口用)
・ 図示(図面番号:)
引き戸用検出装置の種類 ・ 図示(図面番号:)
凍結防止措置 ・ あり ・ なし

15

自閉式上吊り引戸装置
(5. 10. 3)

自閉式上吊り引戸装置の性能値
・ 改修標準仕様書(表5. 10. 1)による ・ ()

16

重量シャッター
(5. 11. 2)
(5. 11. 2)(3)
(表5. 11. 1)
(5. 11. 2)(6)
(5. 11. 3)

種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
耐風圧強度 (Pa以上)
開閉機能
・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
管理用重量シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()

17

軽量シャッター
(5. 12. 2)
(表5. 12. 1)
(5. 12. 3)
(5. 12. 4)

開閉形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式
耐風圧強度 (Pa以上)
スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()
JIS G 3322 ・ A290 ・ ()

18

オーバーヘッドドア
(5. 13. 2)
(5. 13. 3)

型式及び機構
セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧強度 (Pa以上)
開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式 ・ スタンドード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形
ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

19

板ガラス
(5. 14. 2)(1)(5. 14. 3)

○ 図示(図面番号: A-07)

20

ガラス留め材
(5. 14. 2)(2)

○ シーリング ・ ガasket ()

21

ガラス溝の寸法、形状等
(5. 14. 3)

・ 図示(図面番号:)
○ 建具の製造所の仕様による

22

ガラスブロック積み
(5. 14. 5)

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号:)
金属枠、補強材 ・ 図示(図面番号:)
化粧力パー ・ 図示(図面番号:)
工法 ・ 図示(図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

6

内装改修工事

1

一般事項
(6. 1. 3)(2)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
○ 天井	○ 図示(図面番号: A-08-09)
○ 壁	○ 図示(図面番号: A-06-07-10～13)
○ 床	○ 図示(図面番号: A-06-07)

(6. 1. 3)(3)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(6. 1. 3)(5)

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ○ 図示(図面番号: A-08-10) ・ ()

2

既存床撤去、下地補修
(6. 2. 2)(1)(7)
(6. 2. 2)(1)(f)

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ○ 行う ・ 行わない
合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

3

既存壁撤去、下地補修
(6. 3. 2)

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()

4

木下地等

(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.1)

(6.5.2)(2)(7)

木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種類・寸法
下地材	○ A 種 ・ B 種
造作材	・ A 種 ・ B 種

製材

「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用	・ 図示 (図面番号：)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
針葉樹製材					
造作用	・ 図示 (図面番号：)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
針葉樹製材					
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号：)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示（図面番号： ）

造作材の材面の品質 ・ A 種 ・ ()

樹種

部 位	樹 種	出 産 材
・ 内部間仕切軸組、床組		
・ 窓、出入口		
・ 床板張り		
・ 壁、天井下地		

(6.5.2)(2)(4)
(6.5.2)(2)(7)
(表6.5.2)

(6.5.6)(1)
(6.5.7)(1)
(6.5.8)(1)
(6.5.9)(1)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚 さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号：)	・ 図示 (図面番号：)	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号：)	・ 図示 (図面番号：)	・ ()
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 (図面番号：)		・ ()

「集成材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ）

含水率 ・ 15%以下 ・ ()

(6.5.2)(3)(7)

造作用単板積層材

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部 位	品 名 ・ 寸 法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号：)	・ ()	・ ()

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）

含水率 ・ 14%以下 ・ ()

(6.5.2)(4)(7)

直交集成板の日本農林規格」による直交集成板

品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）

・ 合板等

品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.3)(1)

接合具等

造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()

(6.5.3)(2)

諸金物

形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ）

(6.5.5)(1)

防腐、防蟻処理

適用部位 図示（図面番号： ）

保存処理性能区分 ()

薬剤の塗布等の処理方法 ()

附属書 A に基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部材 ())

ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()

(6.5.5)(2)

防虫処理

・ 図示（図面番号： ）

5

軽量鉄骨天井下地

(6.6.2)
(表6.6.1)
(6.6.3)

(6.6.4)

野縁等の種類

・ 屋内 ・ 19 形 ・ ()

・ 屋外 ・ 25 形 ・ ()

形式及び寸法

・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ）

・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ）

・ ふところ≧3.0m ・ 図示（図面番号： ）

既存埋込みインサート

・ 使用する ・ 使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う）

既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験

・ 行う（図示（図面番号： ）） ・ 行わない

・ 確認試験の箇所数（箇所） ・ 確認強度（ ）

耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ）

(6)

軽量鉄骨壁下地

(6.7.3)

7

ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

(6.8.2)
(6.8.2)(1)

(6.8.2)(2)

材料

○ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
F S	プレーン	2.0mm	抗菌

・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考
K T			2.0mm	

(6. 8. 2) (3) (f) (4)	・ 帯防防止床シート又は床タイル					
	種類	性能	寸法	厚さ	備考	
(6. 8. 2) (3) (f) (4)	・ 視覚障害者用床タイル					
	種類	形状	備考			
	ビニル床タイル	300×300×7.0mm				
(6. 8. 2) (3) (e) (4)	・ 耐動荷重性床シート					
	種類	厚さ	備考			
(6. 8. 2) (3) (f) (4)	・ 防滑性床シート又は床タイル					
	種類	寸法	厚さ	備考		
(6. 8. 2) (5) (4)	・ ゴム床タイル					
	種類	色柄	寸法	厚さ	備考	
(6. 8. 3) (1) (4)	工法 下地 ○ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ○ その他（貼替部をリペアメントで下地補修）					
(6. 8. 3) (2) (f) (4)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ○ 適用する ・ 適用しない					
8 カーペット敷き	・ 織じゅうたん					
(6. 9. 2) (1) (表6. 9. 1.)	種類	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄
	・ A種	・ そ毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地
	・ B種	・ 結糸	・ ループパイル			・ 柄物
	・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()		
	品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）					
(6. 9. 2) (2) (表6. 9. 2.)	・ タフテッドカーペット					
	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	
	・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法		
	・ ループパイル			・ グリップバー工法	・ ()	
	・ カット、ループ併用		・ ()			
(6. 9. 2) (3) (表6. 9. 2.)	・ タイルカーペット					
	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度	
		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5		
		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()	
(6. 9. 2) (4) (表6. 9. 2.)	下敷き材	・ 第2種第1号、厚さ8mm	・ ()			
(6. 9. 2) (5) (表6. 9. 2.)	見切り、押え金物	・ 適用する（材質、種類及び形状	・ 図示（図面番号：			
(6. 9. 3) (3) (表6. 10. 8.)	織じゅうたんの接合方法	・ ヒートボンド工法	・ ()			
(6. 9. 3) (5) (表6. 10. 8.)	タイルカーペットの敷き方					
	平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()		
	階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()		
	・ ニードルパンチカーペット					
9 合成樹脂塗床	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程					
(6. 10. 3) (2) (a) (表6. 10. 4.)	・ 平滑仕上げ	・ 防滑仕上げ	・ つや消し仕上げ			
(6. 10. 3) (2) (b) (表6. 10. 3) (3) (表6. 10. 5)～(表6. 10. 8.)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類					
	・ 薄膜流しのべ仕上げ（・ 平滑	・ 防滑	・ 厚膜流しのべ仕上げ（・ 平滑	・ 防滑）		
	・ 樹脂モルタル仕上げ（・ 平滑	・ 防滑	・ 薄膜型塗床仕上げ（・ 平滑）			
10 フローリング張り	・ 釘留め工法					
(6. 11. 4) (表6. 11. 2.)	材料	種類	樹種			
	・ フローリングボード（根太張用）					
	・ フローリングボード（直張用）					
	・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種	・ B種	・ C種	・ なら	・ ()
	・ 複合フローリング（直張用）					
	防湿処理 ・ 図示（図面番号： ）					
(6. 11. 5) (表6. 11. 5.) (表6. 11. 6.)	・ 接着工法					
	材種	樹種	厚さ	幅・長さ		
	・ フローリングボード（直張用）					
	・ 複合フローリング（直張用）	・ なら				
	・ A種	・ B種	・ C種	・ ()		
	○ フローリングブロック（直張用）					
	緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号： ）					
(6. 11. 6) (表6. 11. 6.)	塗替え					
	下地調整 ○ （サゲ・荒掛・中掛・上掛）					
	塗装 ○ ウレタン樹脂ワニス塗り（Ⅰ液形、B種）	・ オイルステイン塗りのうスワックス塗り				
	・ 生地そのままワックス塗り	・ ()				
11 畳敷き	種類	A種	B種	C種	D種	
(6. 12. 2) (表6. 12. 1.)	D種の畳床 K T - （・ I	・ II	・ III	・ K	・ N	
	衝撃緩和型畳の畳表（JIS A 5902） ・ C1					
	・ C2					
12 セッコウボード、その他ボード及び合板張り	材種	種類	厚さ(mm)			
	○ セッコウボード		壁	・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃) ○ 9.5(硬質)		
			天井	○ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)		
	○ 化粧セッコウボード	○ トラバーチン模様		・ 9.5(不燃) ○ 9.5(準不燃)		
		・ 木目模様		・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)		
	○ ロックウール化粧吸音板	・ 普通		○ 9() ・ ()		
		・ 立体模様		・ 9()		

13	壁紙張り (6.14.2)	施工箇所	種類	防火性能
				・ 不燃 ・ 準不燃
	(6.14.3)			・ 不燃 ・ 準不燃
				・ 不燃 ・ 準不燃
	(6.14.3)	素地ごしらえ		
		下 地	種 別	
	モルタル、せつこうプラスター面 コンクリート面 せつこうボード面		・ A種 ・ B種	
			○ A種 ・ B種	
			・ A種 ・ B種	
	モルタル張り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調合材料 ○ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状:) 床の目地 ・ 図示 (図面番号:) 下地処理 ○ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号:)		
15	タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号:)		
		タイルの種類		
	(6.16.3)(2)	施工箇所	形状	寸法
				耐滑り性
	(6.16.3)(5)			標準・特注色の別
				耐凍害性の有無
	(6.16.3)(2)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない		
		壁タイル張りの工法 ・ 内装タイル (・ 密着張り ・ 改良匠着張り) ・ ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)		
	セルフレベリ ング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せつこう系 ・ セメント系 塗厚 () mm		
		断熱材		
17	断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法		
		種類	種別	厚さ (mm)
	(9.5.3)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム		施工箇所
	(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)		
		種類	厚さ [mm]	施工箇所
	(9.5.3)	・ A種1 ・ A種1H ・ ()	・ ()	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床板下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ ()
	(9.5.3)			
7	1 材料 (7.1.3)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)		
		2 下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR種の場合) ・ 図示 (図面番号:)	
	塗装改修工事	種別 (改修面)	下地	種別
		○ 木部 ・ 鉄鋼面 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ モルタル、せつこうプラスター面 ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ 押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP塗装) ・ せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	ひび割れ部の補修
	3 素地ごしらえ (7.3.1～7.3.7) (表7.3.1)～ (表7.3.7)	種別 (新規面)	下地	種別
		○ 木部 ・ 鉄鋼面 ・ 亜鉛めっき鋼面 ○ モルタル、せつこうプラスター面 ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ 押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP塗装) ○ せつこうボード、その他ボード面	・ A種 ○ B種 ・ A種 ・ B種 ・ A種 ・ B種 ・ A種 ○ B種 ・ A種 ・ B種 ・ A種 ・ B種 ・ A種 ○ B種	
	4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) (表7.4.3)～ (表7.4.5)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種		
		5 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) (7.5.3～7.5.4) (表7.5.1)～ (表7.5.3)	塗料種別 種別	下地
	6 クリヤラッカー塗り (CL) (7.6.2) (表7.6.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種	種別	種別
			○ 木部 ・ 鉄鋼面 ・ 亜鉛めっき鋼面	○ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	7 アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種		
		8 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)～ (表7.8.3)	上塗り等級 下地 コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系) 種別 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

9	つや有合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)～(7.9.5) (表7.9.1)～ (表7.9.4)	種別	下地		種別	
			コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面		・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	
			木部 (屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	
			鉄鋼面 (屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	
			亜鉛めっき鋼面 (屋内)		・ A種 ・ B種 ・ C種	
			種別		・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種 しみ止め ・ ()	
10	合成樹脂エマ ルションペイン ト塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	・ A種 ・ B種			
			工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない			
			種類 ・ ピグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り			
			オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ ()			
			種別		・ A種 ・ B種	
11	ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	・ A種 ・ B種			
			工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない			
			種類 ・ ピグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り			
			オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ ()			
			種別		・ A種 ・ B種	
12	ステイン塗り (7.12.2) (表7.12.1)	種別	・ A種 ・ B種			
			工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない			
			種類 ・ ピグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り			
			オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ ()			
			種別		・ A種 ・ B種	
13	木材保護塗料 塗り (WP) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	・ A種 ・ B種			
			工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない			
			種類 ・ ピグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り			
			オイルステイン塗りの工程、塗料 ・ ()			
			種別		・ A種 ・ B種	

9

1

石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

環境配慮改修工事

施工調査

石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び資与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。

調査範囲

図示 (図面番号:)

(含有の可能性のある建材)

資与資料 ()

分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクリライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

JIS A 1481-1 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法) による

JIS A 1481-2 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法) による

JIS A 1481-3 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法) による

JIS A 1481-4 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部:質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法) による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()

※事前調査の結果は「石綿事前調査結果報告システム」を利用し、関係官庁への報告を行うこと。

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所

図示 (図面番号:)

()

石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点





適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点
・	測定5		処理作業室外 (敷地境界)	計 点
・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間	処理作業室内	計 点
・	測定8	以降	調査対象室外部の付近	計 点

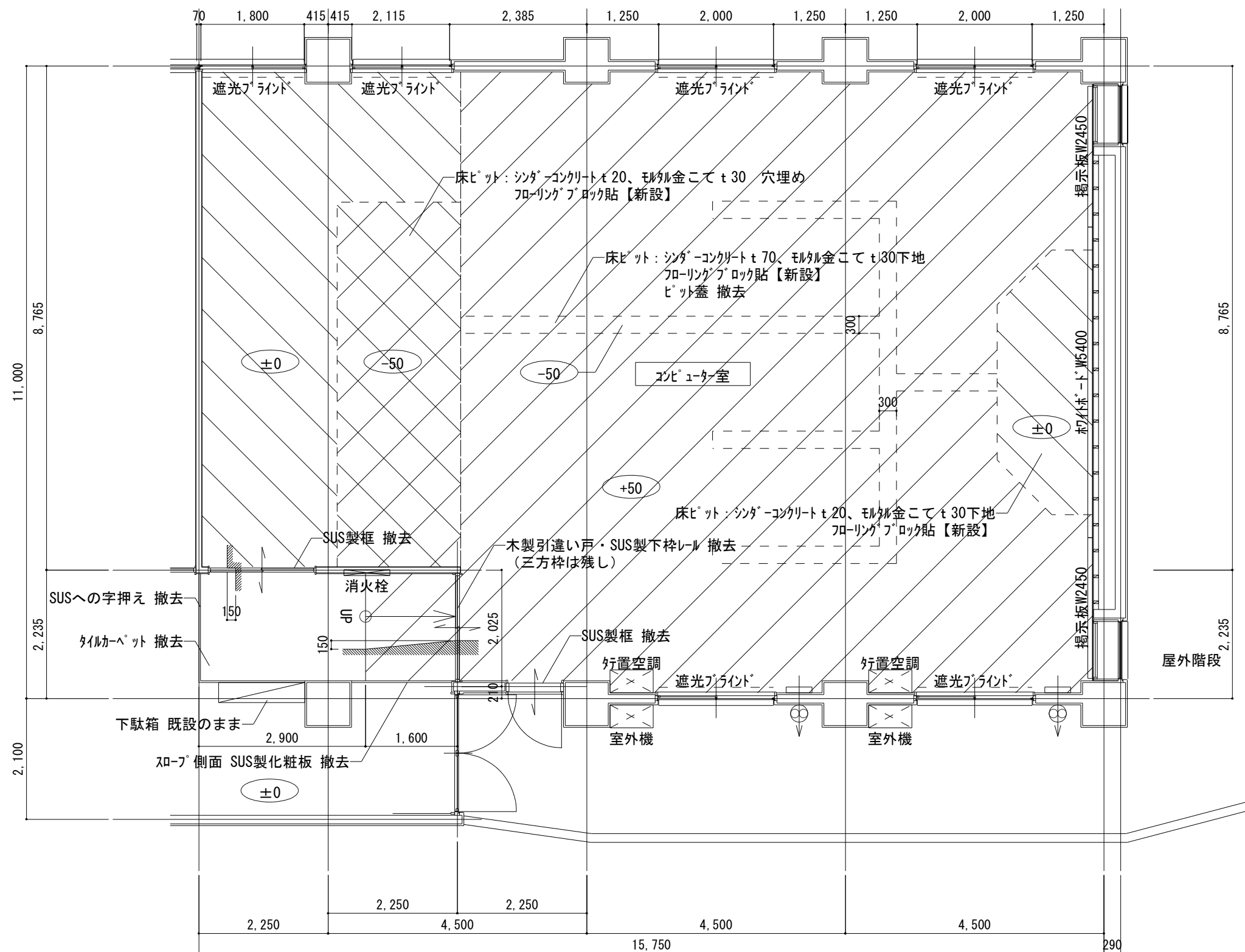
測定方法

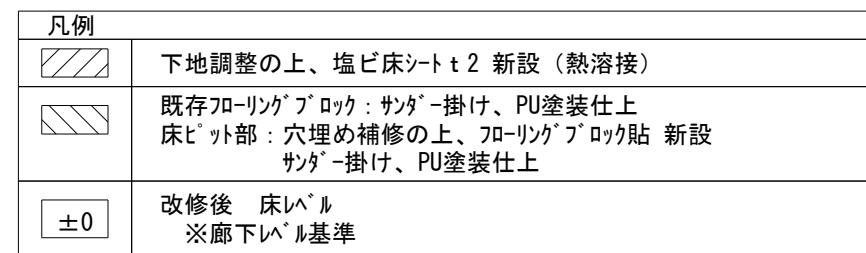
	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

(9.1.3)	・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ （ ） 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ・ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）	(9.1.4)	・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ （ ） 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）	(9.1.5)	<input checked="" type="radio"/> 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 <input checked="" type="radio"/> 事前調査により除去範囲を決定する 石綿含有せっこうボードの処分 <input checked="" type="radio"/> 埋立処分（管理型最終処分場） 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）	(9.1.6)	・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ） 除去方法 ・ （ ） 除去した石綿含有仕上塗材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による） 汚泥としての処理 ・ 必要 ・ 不要 ※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。 <input checked="" type="radio"/> 除去等作業の結果報告 除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。			

備考					<div><div><div><div></div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1ー861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div></div>	設計代表者				設計担当者				SCALE		工事名称 川越北小学校 コンピューター室等改修工事	A-05 原図：A3
						一級建築士 No.352551 田端進也				一級建築士 No.352551 田端進也				A3 : No Scale			
														DATE			
										R 7, 1 1				図面名称 特記仕様書 5			

凡例	
	フリーアクセスフロア H=100 撤去
	フリーアクセスフロア H=150 撤去
	フリーアクセスフロア H=200 撤去
	フリーアクセスフロア下 床レベル ※廊下レベル基準





國際教室: 49. 9605m2	通級指導教室: 46. 54215m2
必要採光: 49. 9605m2/5=9. 9921m2	必要採光: 46. 54215m2/5=9. 30843m2
必要換氣: 49. 9605m2/20=2. 498025m2	必要換氣: 46. 54215m2/20=2. 3271075m2
自然採光 $w. 2.0 \times h. 1.8-3.6m \times \text{係數}3=10.8m2$	自然採光 $w. 2.0 \times h. 1.8-3.6m \times \text{係數}3=10.8m2$
→採光OK	→採光OK
有効換氣量 $w. 1.0 \times h. 1.8 \times 1 \text{ 力所}=1.8m2$	有効換氣量 $w. 1.0 \times h. 1.8 \times 1 \text{ 力所}=1.8m2$
→機械換氣 必要	→機械換氣 必要

記号	数量	WD 1	WD 2	各1ヶ所	WD 3	1ヶ所
姿 図						
場 所	3階 国際教室・通級指導教室				3階 通級用物置	
形式	見込	引き違い戸		戸厚 40	片開き戸	戸厚 40
仕上	材質	ホ [*] リエ stel 合板		木製フラッシュ	ホ [*] リエ stel 合板	木製フラッシュ
硝子	下端	WD-1：透明ガラス WD-2：マジックミラー		FL±0	-	FL±0
付属金物	引き違い戸錠、SUS製引手、戸車				レバー・ハンドル	
備考	木製 三方枠 SOP塗装、SUSフラットレール				木製 三方枠 SOP塗装、SUS製床見切	

3階 コンピューター室（改修前）

4,500

2,700

2,550

150

1,800

1,700

2,000

2,000

2,250

4,500

15,750

4,500

4,500

290

A方向展開図

11,000

B方向展開図

4,500

4,500

2,250

11,250

290

C-1方向展開図

4,500

4,500

2,250

11,250

290

C-2方向展開図

4,500

4,500

2,250

11,250

290

D-1方向展開図

4,500

4,500

2,250

11,250

290

D-2方向展開図

4,500

4,500

2,250

11,250

290

凡例

壁木下地・壁仕上 撤去

SCALE

A3 : 1/80

DATE

R 7, 1 1

工事名称

川越北小学校 コンピューター室等改修工事

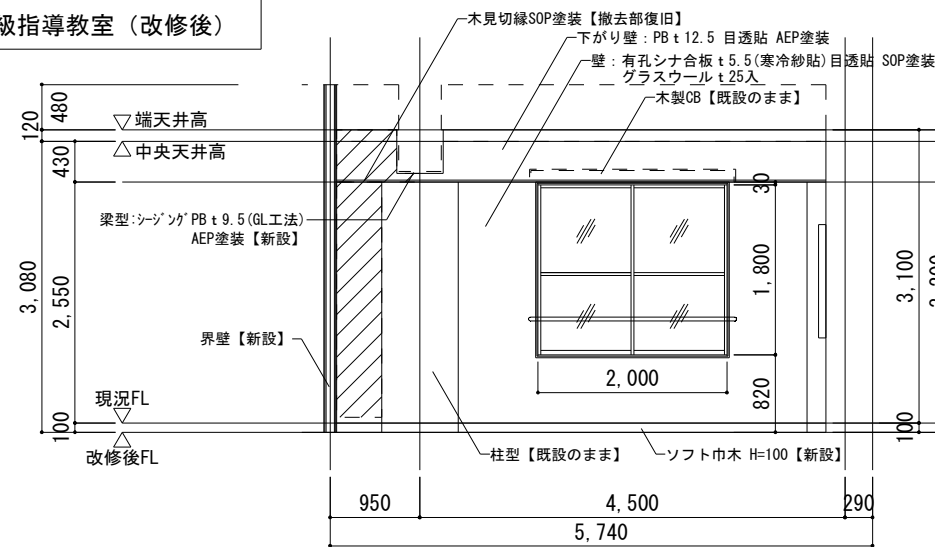
図面名称

展開図 1 3階特別教室(改修前)

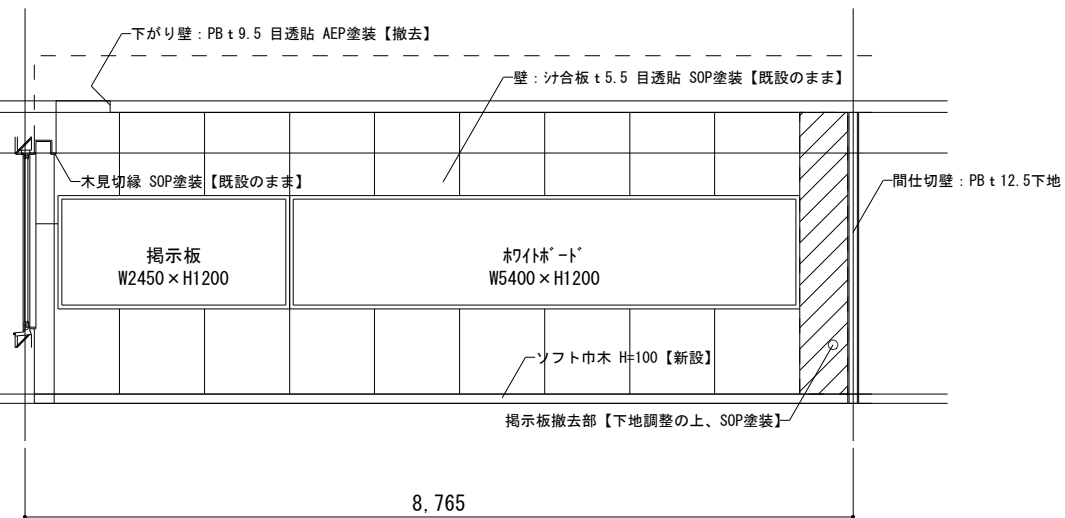
A-10

原図: A3

3階 通級指導教室（改修後）

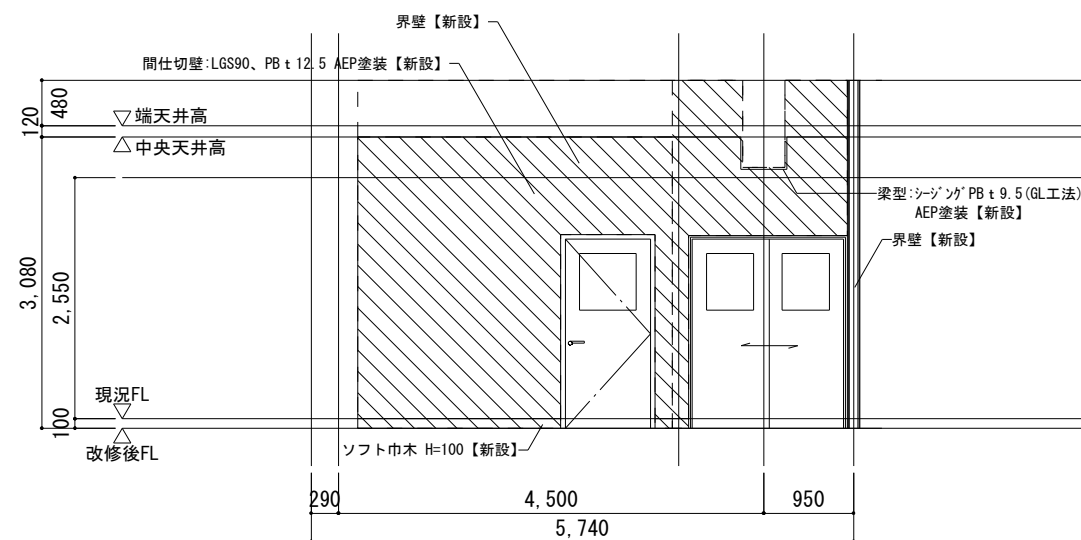


A方向展開図

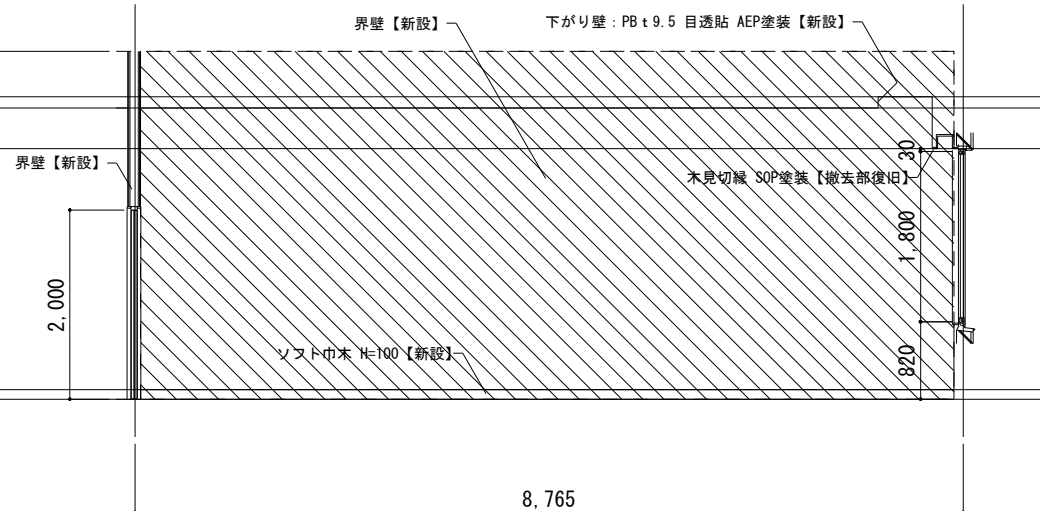


B 方向展開図

凡例	
	壁木下地・壁仕上 復旧
	界壁・間仕切壁 新設

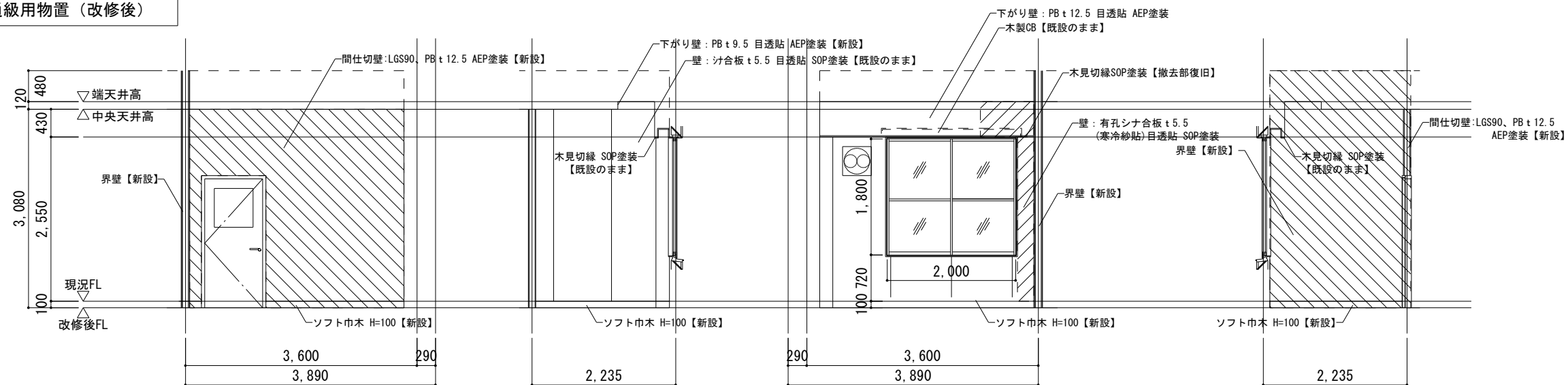


C方向展開図



D 方向展開図

3階 通級用物置（改修後）



A 方向展開図

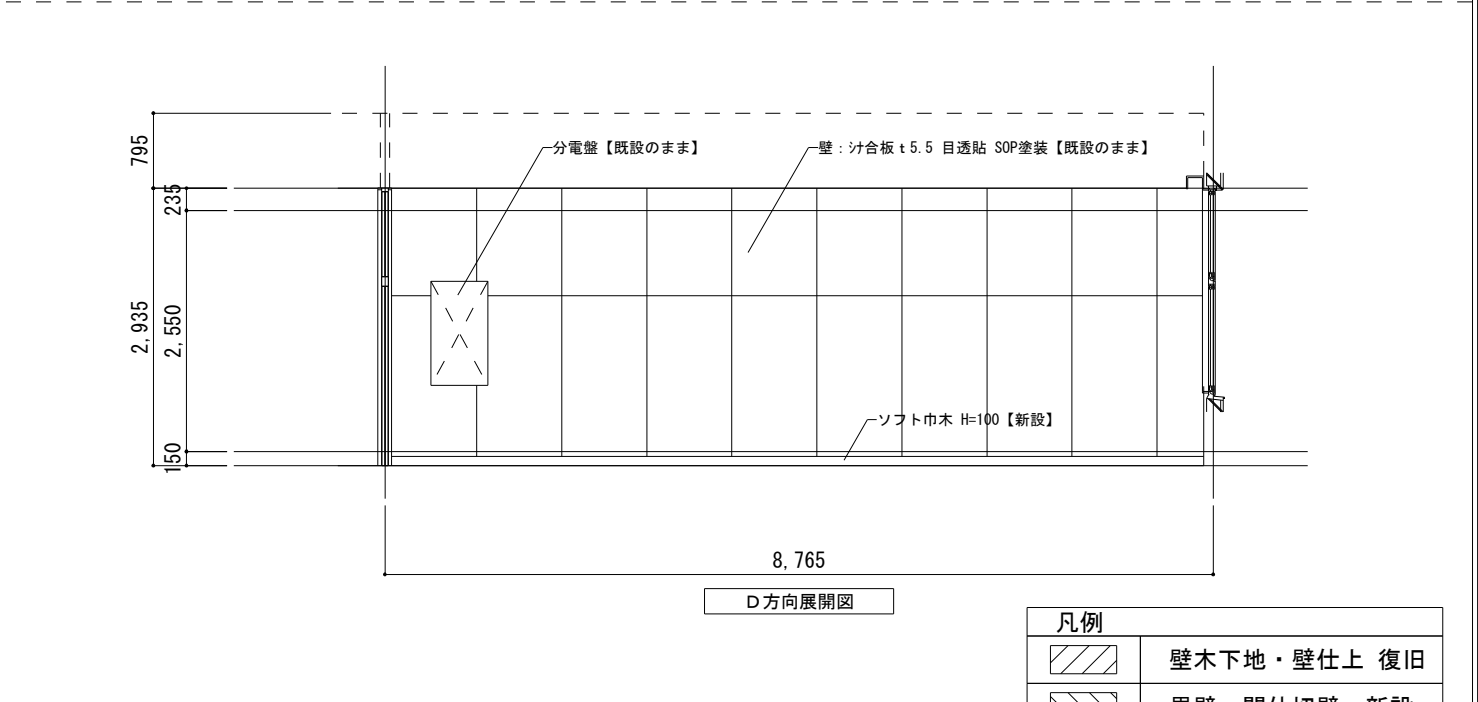
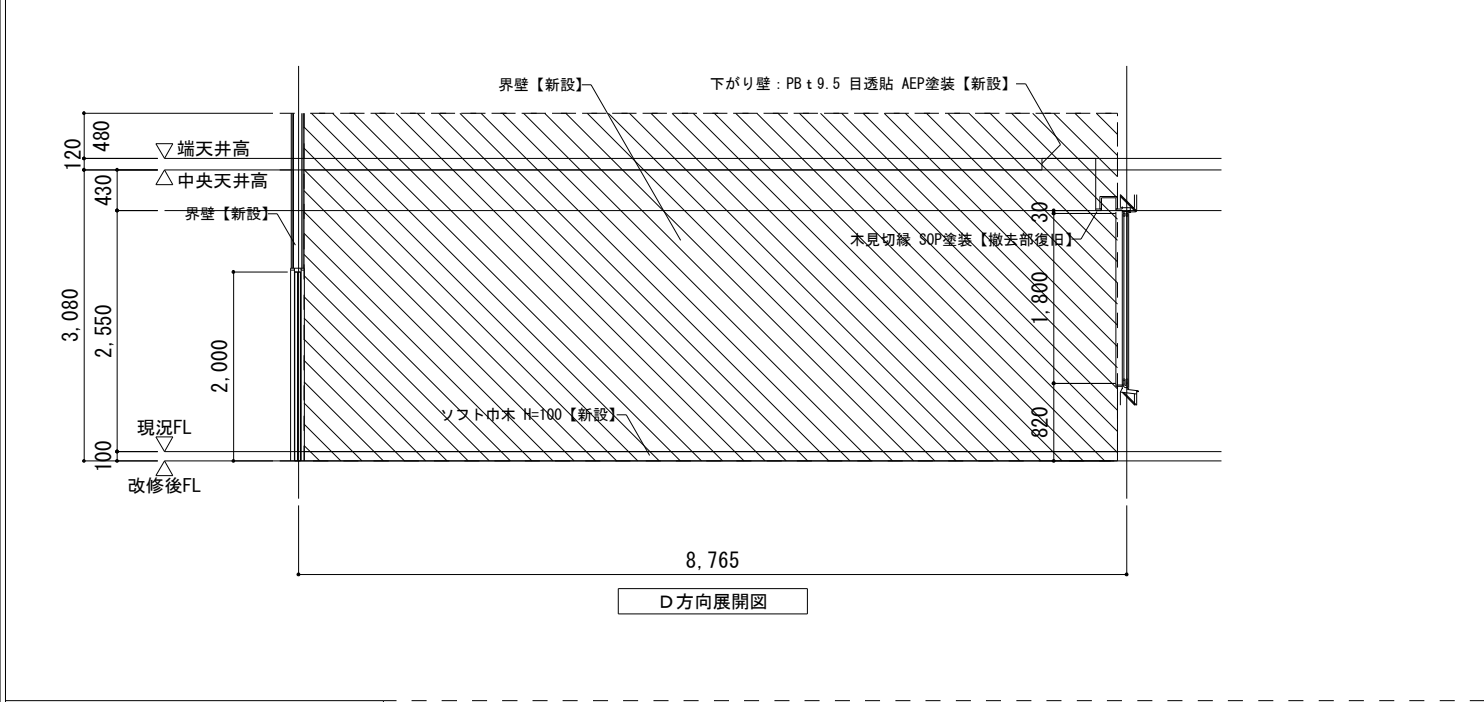
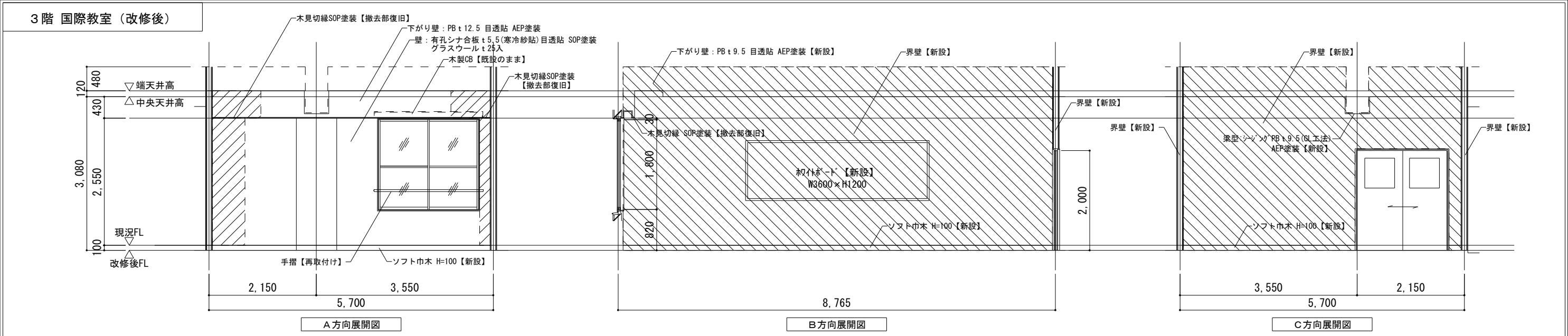
B方向展開図



C方向展開図

D 方向展開図

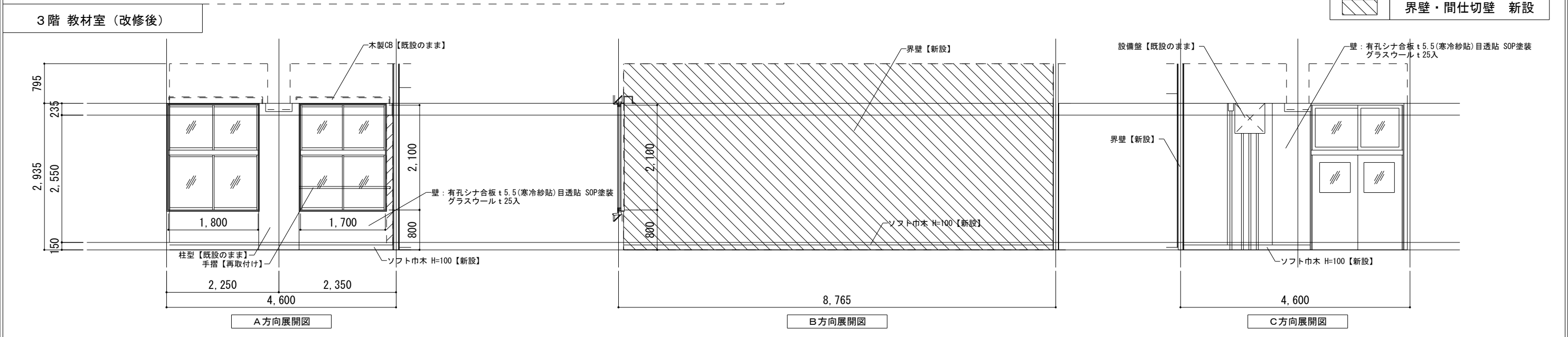
備考		<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 達也</div></div>	設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 川越北小学校 コミュニティ室等改修工事	A-11 原図：A3
			一級建築士 No.352551 田端達也	一級建築士 No.352551 田端達也					A3 : 1/80			
									DATE R7.11	図面名称 展開図2 3階特別教室(改修後)		

3階 国際教室（改修後）

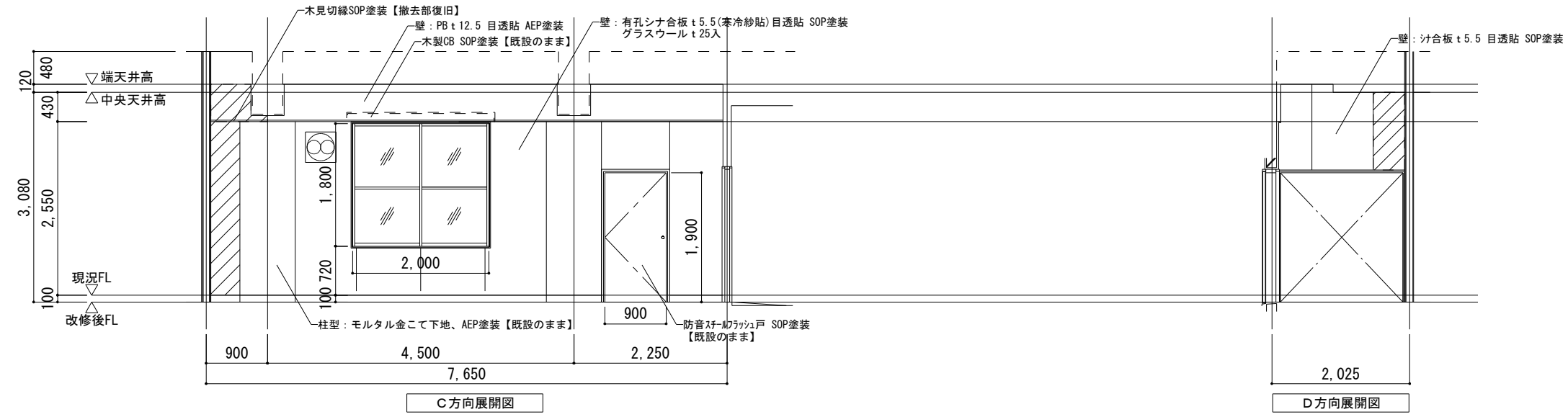
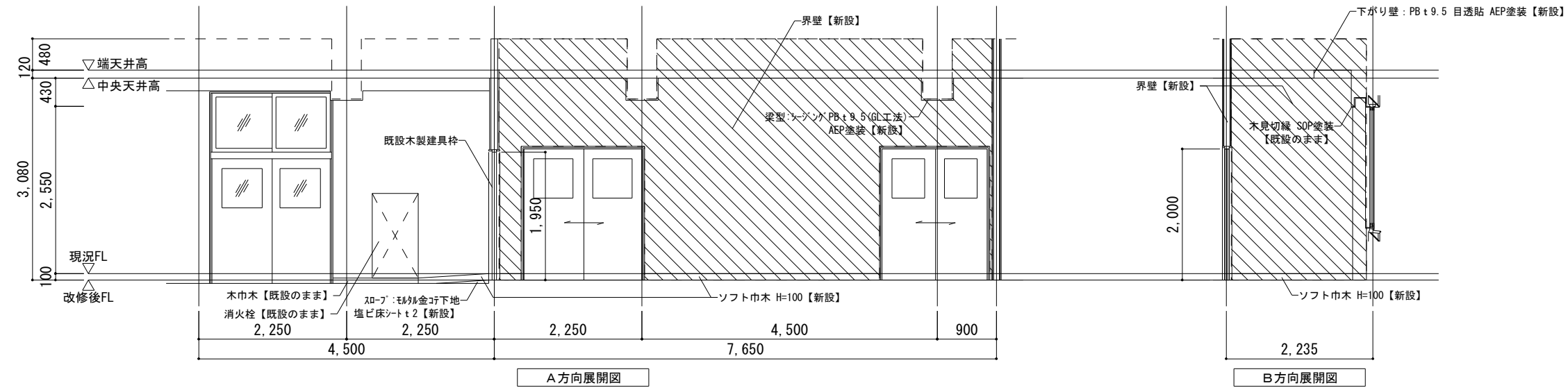


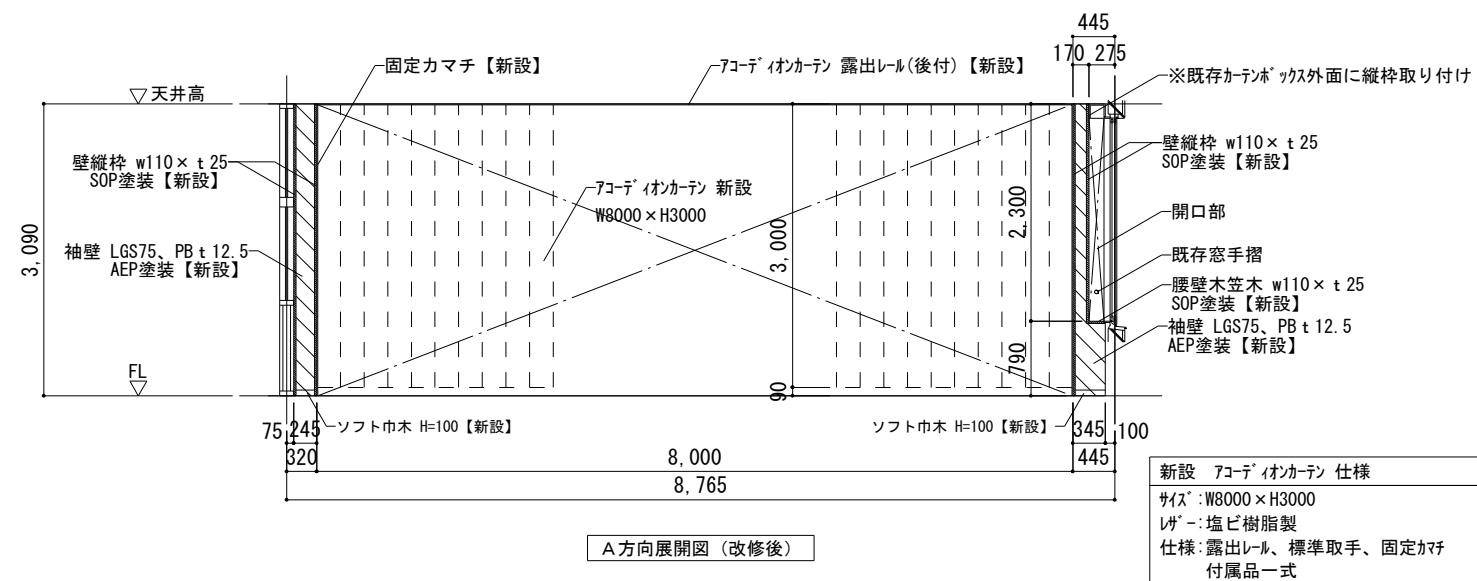
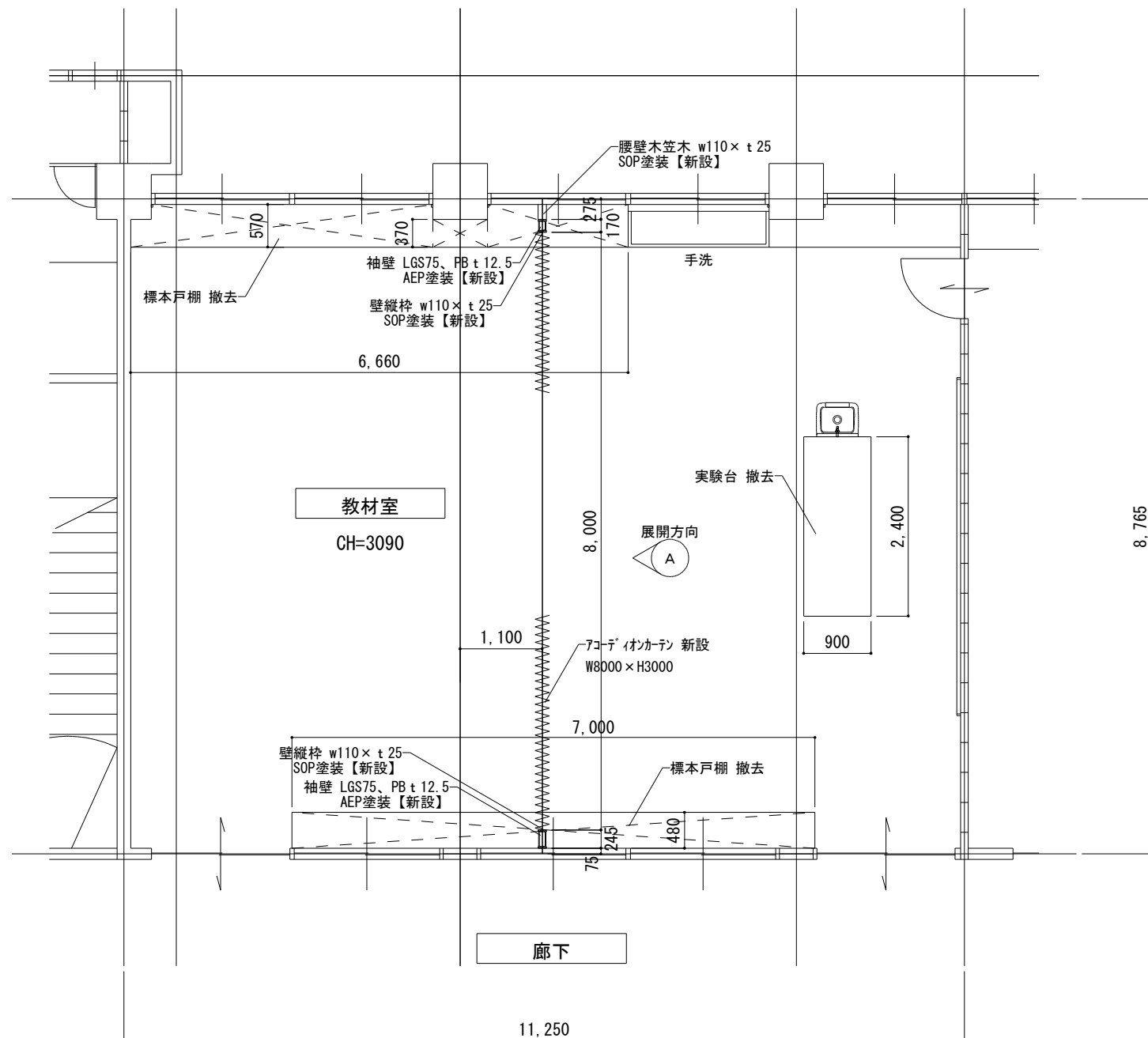
凡例	
	壁木下地・壁仕上 復旧
	界壁・間仕切壁 新設

3階 教材室（改修後）

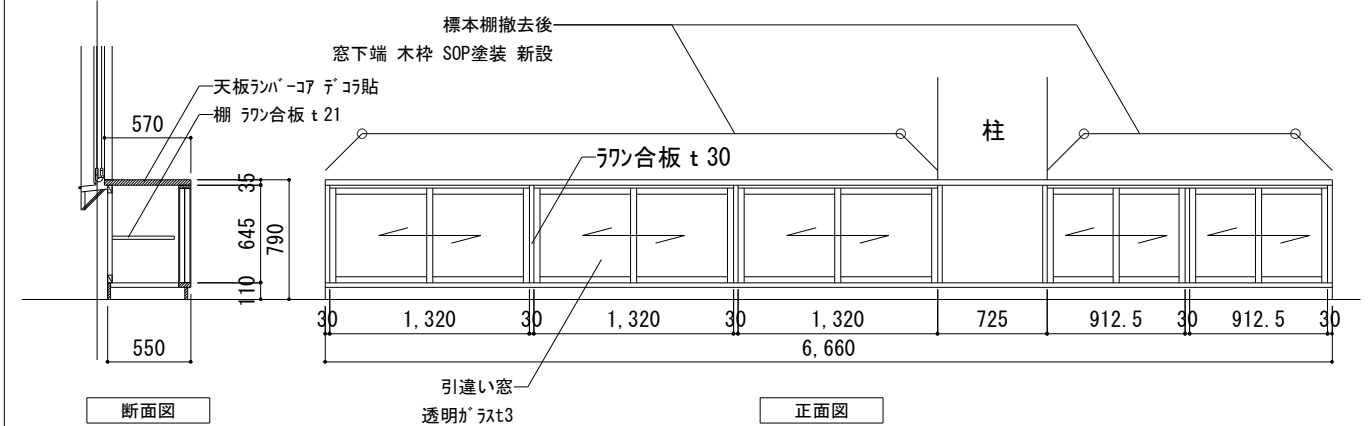


備考	<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第 1-861 一級建築士 No.352551 田端 達也</div></div>		設計代表者		設計担当者			SCALE		工事名称 川越北小学校 コピート室等改修工事	A-12 原図：A3
			一級建築士 No.352551 田端 達也		一級建築士 No.352551 田端 達也			A 3 : 1/80			
								DATE			
								R 7, 1 1			

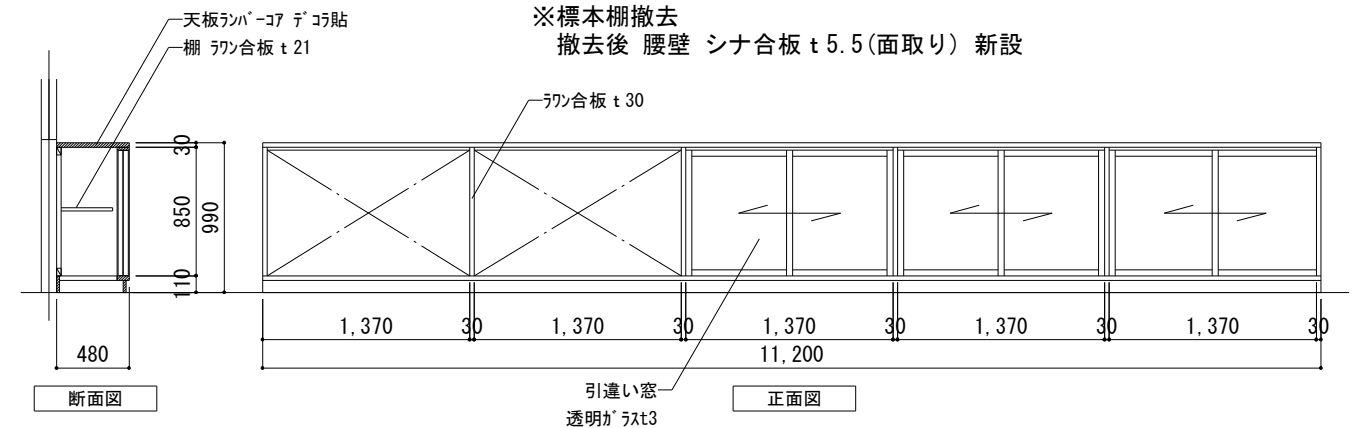




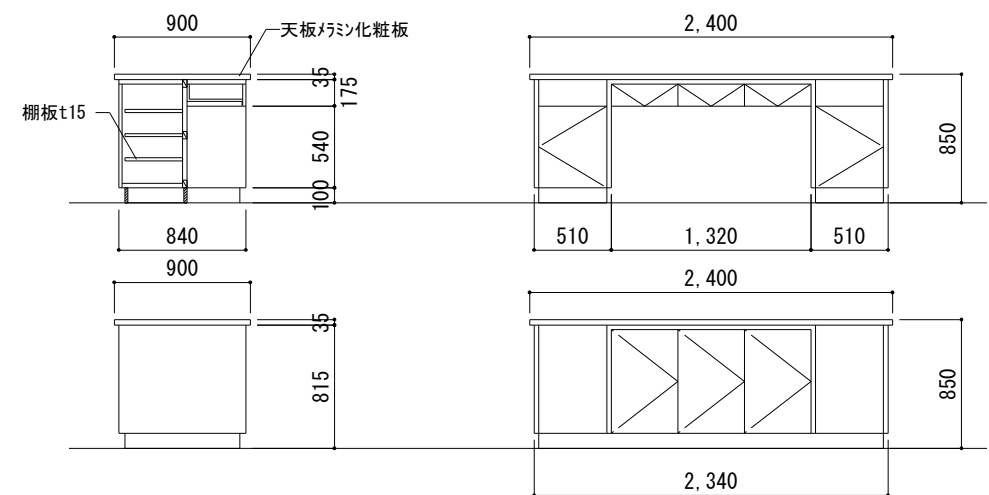
※標本棚撤去
撤去後 RC腰壁面：モルタル金平の上、SOP塗装 新設
ソフト巾木H=100 新設



※標本棚撤去
撤去後 腰壁 シナ合板 t 5.5(面取り) 新設



※実験台 撤去



川越北小学校コンピュータ室等改修工事

仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

三重郡川越町大字豊田一色69

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一	備考
川越北小学校	RC造	3階建		(7)項	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

○印の付いたものを適用する

建物別及び屋外 工事種目	工事種別				
○電灯設備	一式				
動力設備					
電熱設備					
雷保護設備					
受変電設備					
静止形電源設備					
発電設備					
構内情報通信網設備					
構内交換設備					
情報表示設備					
映像・音響設備					
拡声設備					
誘導支援設備					
○テレビ共同受信設備	一式				
監視カメラ設備					
駐車管理設備					
防火・入退室管理設備					
自動火災報知設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
テレビ電波障害防除設備					
○インターホン設備	一式				

4. 指定部分

・無 ○有 ()

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房庁官庁情報部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準図」という。）による。

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
なお、機械設備工事の工事仕様書は () 図による。

2. 特記仕様

1) 項目は●印の付いたものを適用する。

2) 特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
○ グリーン購入法	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく特定調達品目「公共工事」の品目・照明制御システム・変圧器
● 機材	1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む。）に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。 2) 本工事に使用する機材のうち、外部機関（（社）公共建築協会他が下記1）～6）の品質及び性能等を評価している機材は、その機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面の写しを、監督職員に提出し承認を受けることにより、その機材について評価された品質及び性能等の資料は、監督職員への提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設および品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
○ 化学物質を放散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ建材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 （2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

（3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

（4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

（5）上記（1）、（3）及び（4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを行い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

室内空気中の化学物質の濃度測定

●電源周波数

●電気工作物の種類

●電気保安技術者

●電気工事士

●工事用電力・水・その他

○監督員事務所

○工事用仮設物

○足場、さん橋

●工事写真・完成図等

●廃生材の処理

○残土処理

○耐震施工

（3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

（4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

（5）上記（1）、（3）及び（4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを行い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

呼び線

○金属製電線管の塗装

○照度測定箇所

○電磁開閉器用押しボタン

○コンセント

●プレートの材質

○インバータ装置の規約効率

○地中線の埋設

○天井仕上げ表示

○接地棒

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	1.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中 間 階	機器	1.5	1.0	1.0	0.5
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.5
地下・1階	機器	1.0	0.5	0.5	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.5
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.5

【備考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・配電盤
・発電装置（防災用）
・交換機
・上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建ての場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数及び管径等は、監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。
また、機械室等の床配線は図面とP.F.管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金具管とし、その場合は全長に亘って接地線を敷ける。

長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ 1.2mm 以上の被覆鉄線を挿入する。

下記の露出配管は塗装を行う。
・屋外
・屋内（ボックス、支持金物等含む）

測定数 箇所以上

遠方操作押しボタンは、適用形とする。

図面に特記なき場合、コンセント 2P15A（接地付付）は、プラグ不要とする。

フラッシュプレート ○金属製
・樹脂製

三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力（kW）	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
インバータ効率（％）	95.0	95.5	92.0	91.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

備考）（1）規格効率は、JEN-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（2）規格効率は、JISC 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、1P4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

構内線路における埋設棒の材質及びその節数は、図面に記載のない場合は次による。
・鉄製（箇所）
・コンクリート製（箇所）

図面において、室名に（ ）を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。

接地棒の材料は下記による。
なお、接地棒EB（14φ）の長さ1500mm以上とし、（10φ）は、W=30、L=900、（14φ）はW=40、L=1200としても差し支えない。（雷保護用を除く）

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地棒
共同接地	E _g	Ω以下	EB（14φ）×3連～1根
共同接地	E _g c o	Ω以下	EB（14φ）×3連～1根
A種接地	E _a	10Ω以下	EB（14φ）×3連～2根
B種接地	E _b	Ω以下	EB（14φ）×3連～1根
C種接地	E _c	Ω以下	EB（14φ）×3連～1根
D種接地	E _d	100Ω以下	EB（10φ）×1（L=1000mm）
高圧避雷器	E _h	10Ω以下	EB（14φ）×3連～2根
低圧避雷器	E _l	10Ω以下	EB（14φ）×3連～2根
雷保護用	E _l	Ω以下	EB（14φ）×3連～1根
交換機用	E _t	Ω以下	EB（14φ）×3連～1根
電話引込口の保安器	E _l	100Ω以下	EB（10φ）×1（L=1000mm）
通信用	E _{ll}	10Ω以下	EB（14φ）×3連～2根
通信用	E _{ll}	100Ω以下	EB（10φ）×1（L=1000mm）
測定用	E _o		EB（10φ）×1（L=1000mm）

●取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高 [mm]
ブラケット（一般）	床面～中心	2,100
〃（旗竿）	〃	2,500
〃（旗竿）	旗竿～中心	150
避難口誘導灯	床面～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床面～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床面～中心	1,300
〃（多機能トイレ）	〃	1,100
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般）	〃	300
〃（和室）	〃	150
〃（台所）	台上面～中心	150
コンセント（車庫）	床面～中心	800
コンセント（車椅子用）	床面～中心	900
引込開閉器箱（低圧）	〃	1,500
分電盤、OA盤、制御盤、実験盤	〃	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
雷保護用接地端子箱	床面～下端	800
接地棒埋設棒	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
中継端子盤（EPS・電気室）	床面～中心	1,500
観時計	〃	1,500
時計計、スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アタッチメント	〃	1,300
出退表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,300
外部受付用インターホン機	〃	標準図による
呼びボタン（多機能トイレ）	〃	900
夜間ボタン（〃）	〃	1,800
廊下表示灯（〃）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	〃	1,800
火報受信機（複合型）	床面～操作部	800～1,500
副受信機	床面～中心	1,500
自動報知機収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯	〃	（天井高）×0.8
遠動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（LPガス）	〃	300
〃（都市ガス）	天井面～中心	（天井高）～200

（備考）（天井高）×0.9 及び（天井高）×0.8 は天井高が 2500～3000mm の場合に適用する。

●施工図等の取扱い

施工図等の提出 ○要
施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

●施工調査

○事前調査（照明及びつた回路の負荷等確認）
調査項目（電灯分電盤の開閉器の状況、防火区画の確認・貫通等箇所の確認）
調査範囲（／）図による
・監督職員の指示による。
調査方法（／）図による
○はつり工事は、事前に進捗状況確認調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
・非破壊検査（費用は別途とする）

○仮設備工事

○養生

○電線類

次の記号で使用する電線類は、下記仕様による。

記 号	仕 様
EM-UTP	JCS 5503「耐熱性ポリオレフィンシースLAN用ツイストペアケーブル」
(EM-UTP5)	耐熱性ポリオレフィンシース カテゴリ5 UTPケーブル（UTP-CAT5E/F）
(EM-UTP6)	耐熱性ポリオレフィンシース カテゴリ6 UTPケーブル（UTP-CAT6E/F）
(EM-UTP6A)	耐熱性ポリオレフィンシース カテゴリ6A UTPケーブル（UTP-CAT6A/F）

備考

（株）田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者

設計担当者

SCALE
A3 : 1/100
DATE
R7, 11

工事名称

図面名称

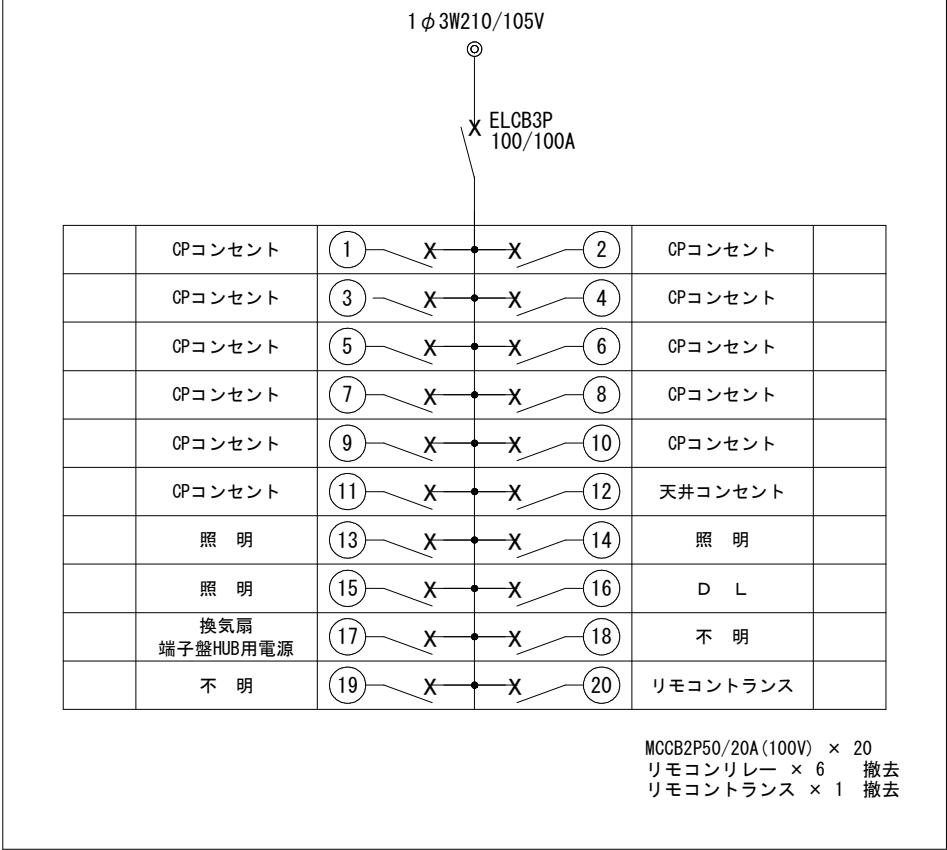
川越北小学校コンピュータ室等改修工事

電気設備特記仕様書

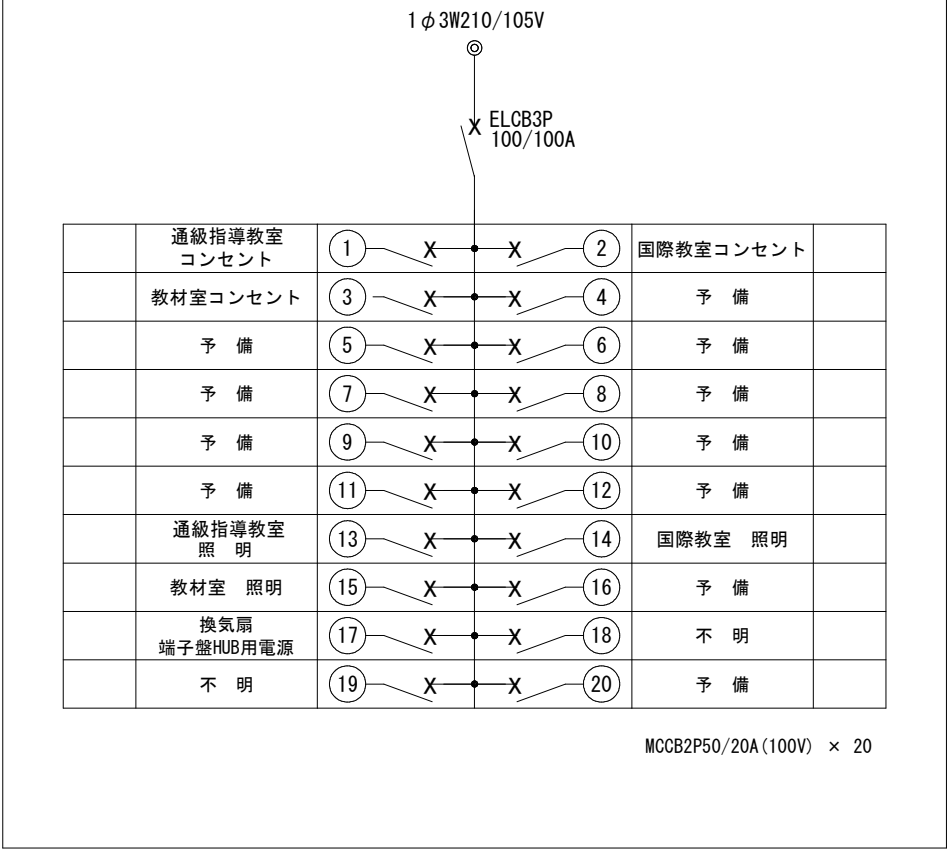
E-01

原図：A3

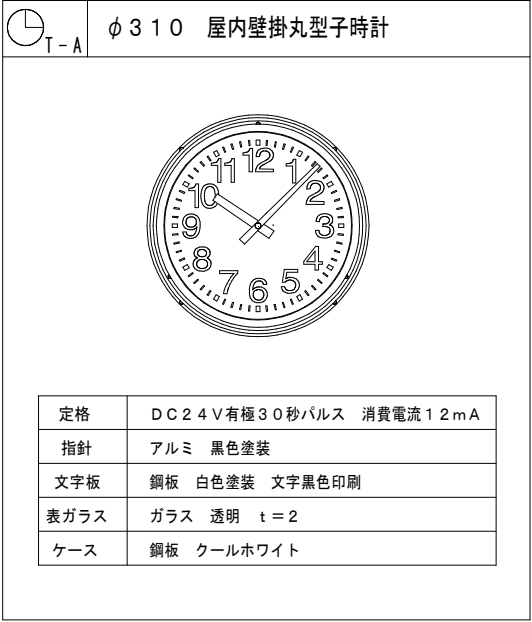
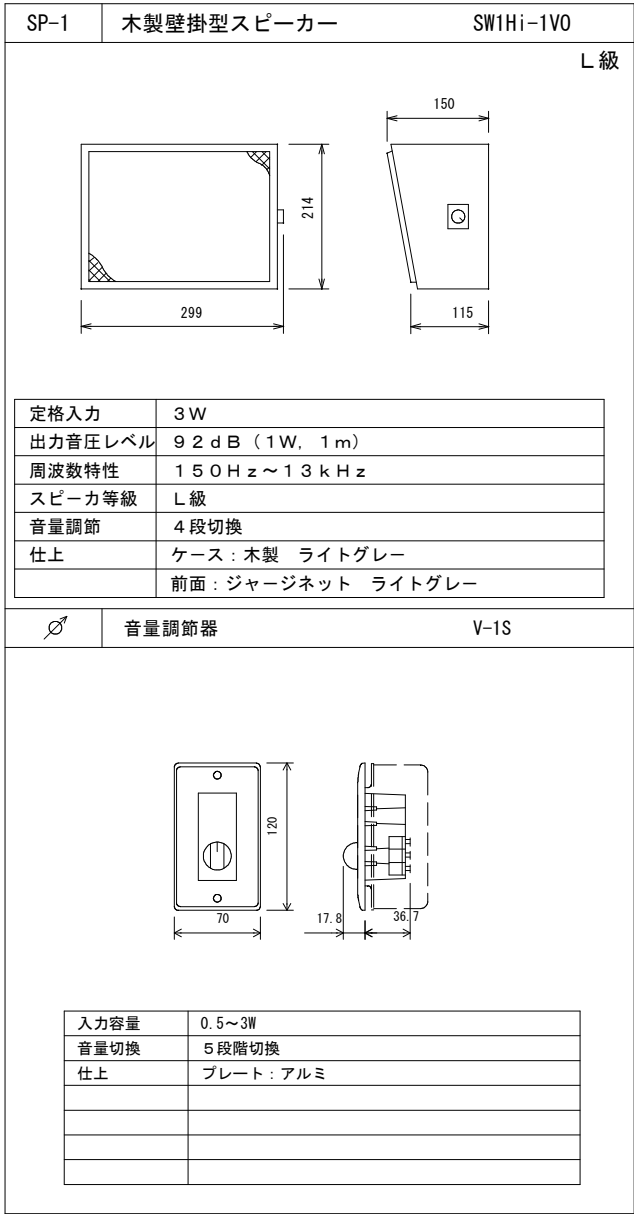
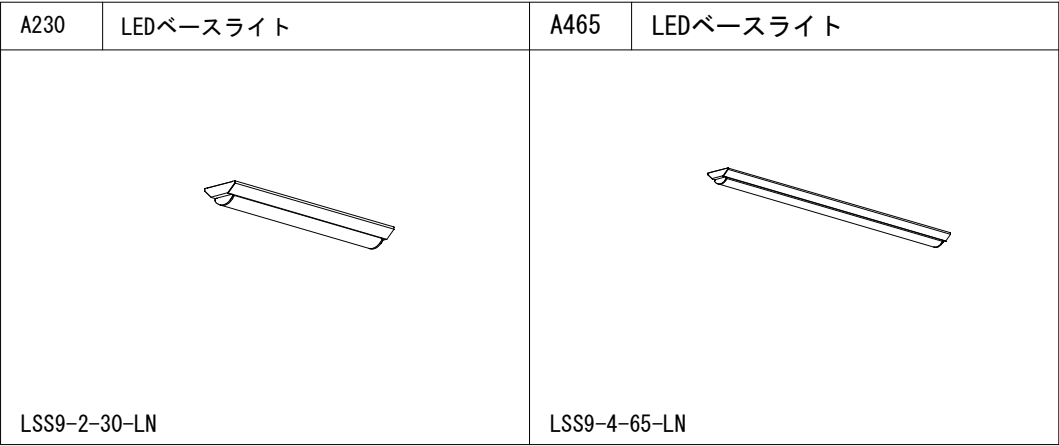
3L-B 半埋込型 改修前



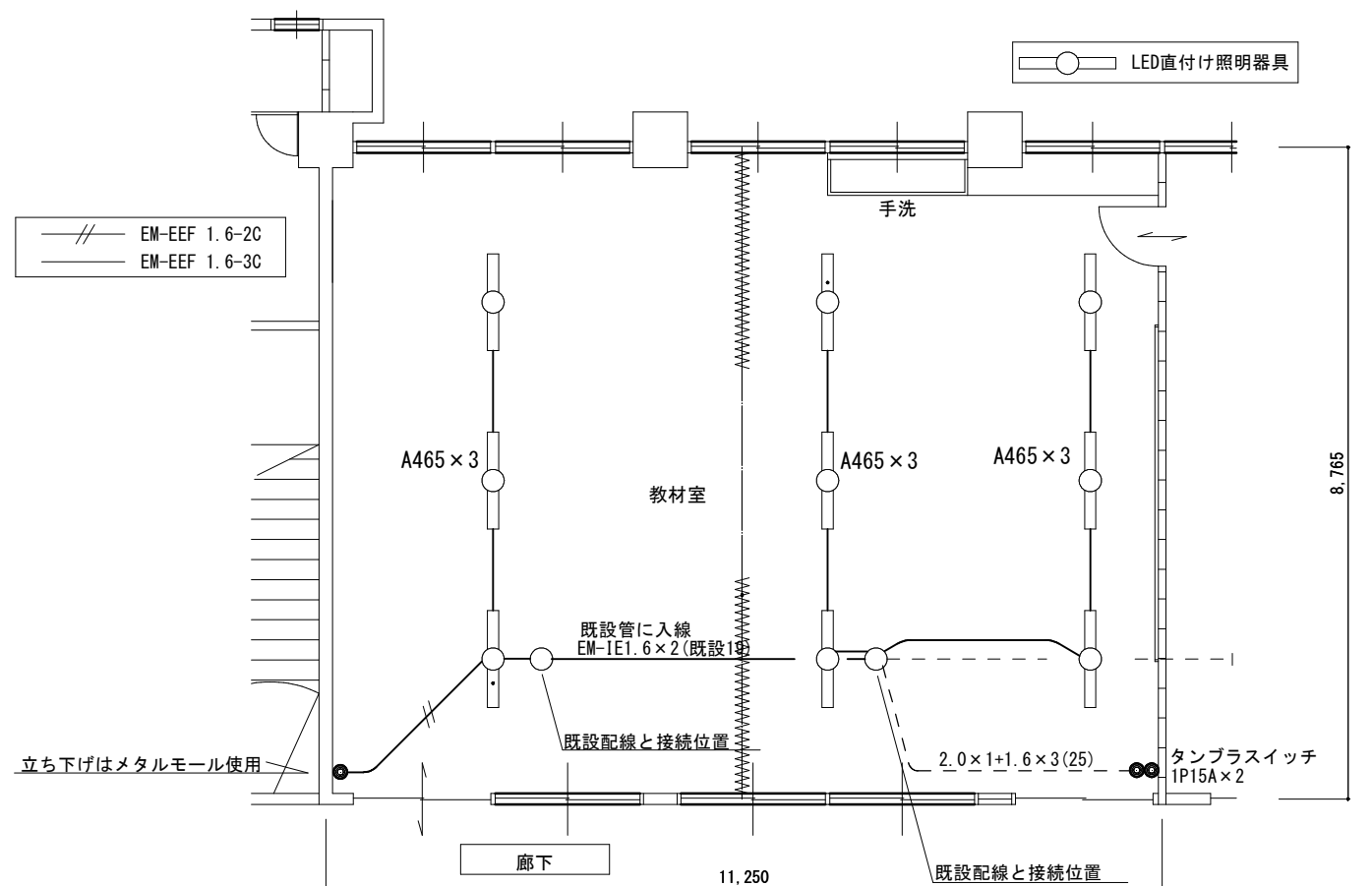
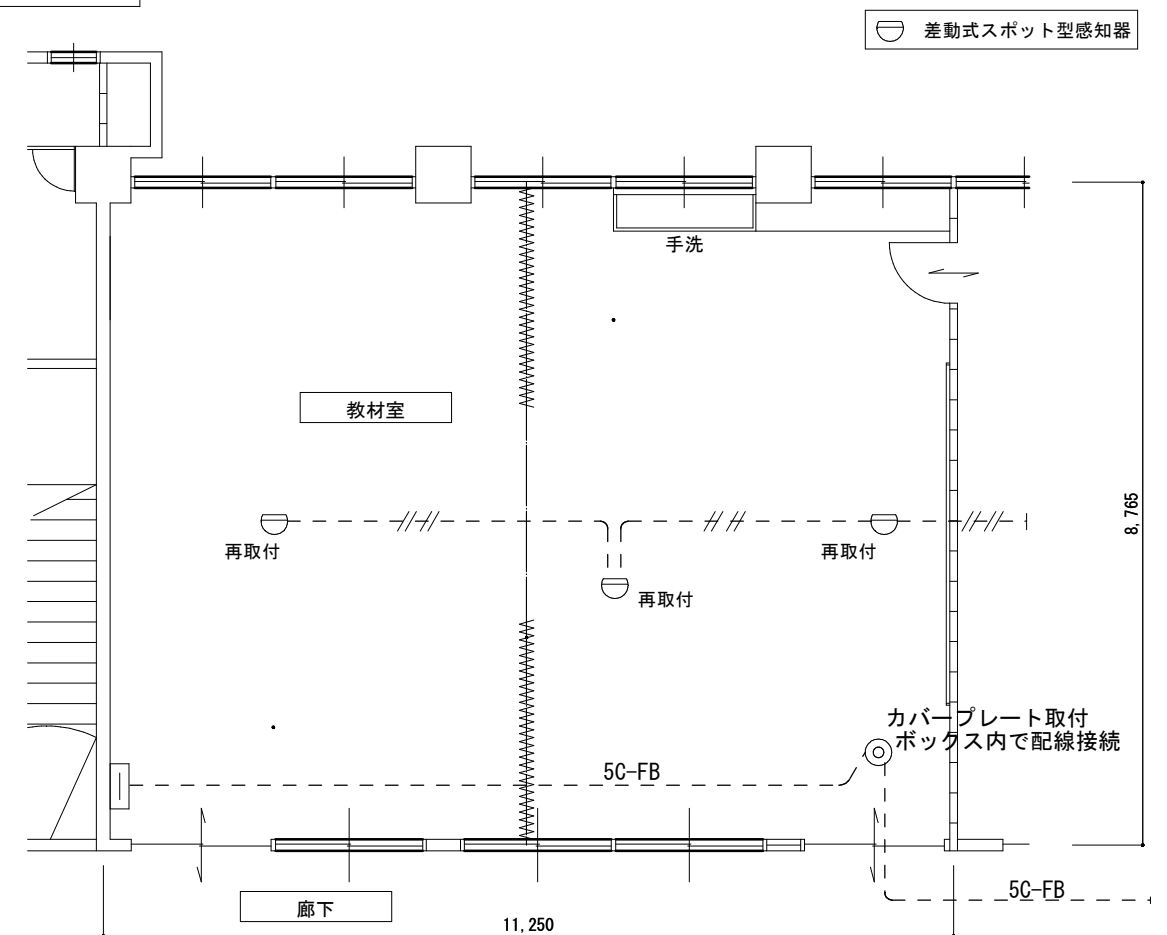
3L-B 半埋込型 改修後




照明器具姿図 (参考)

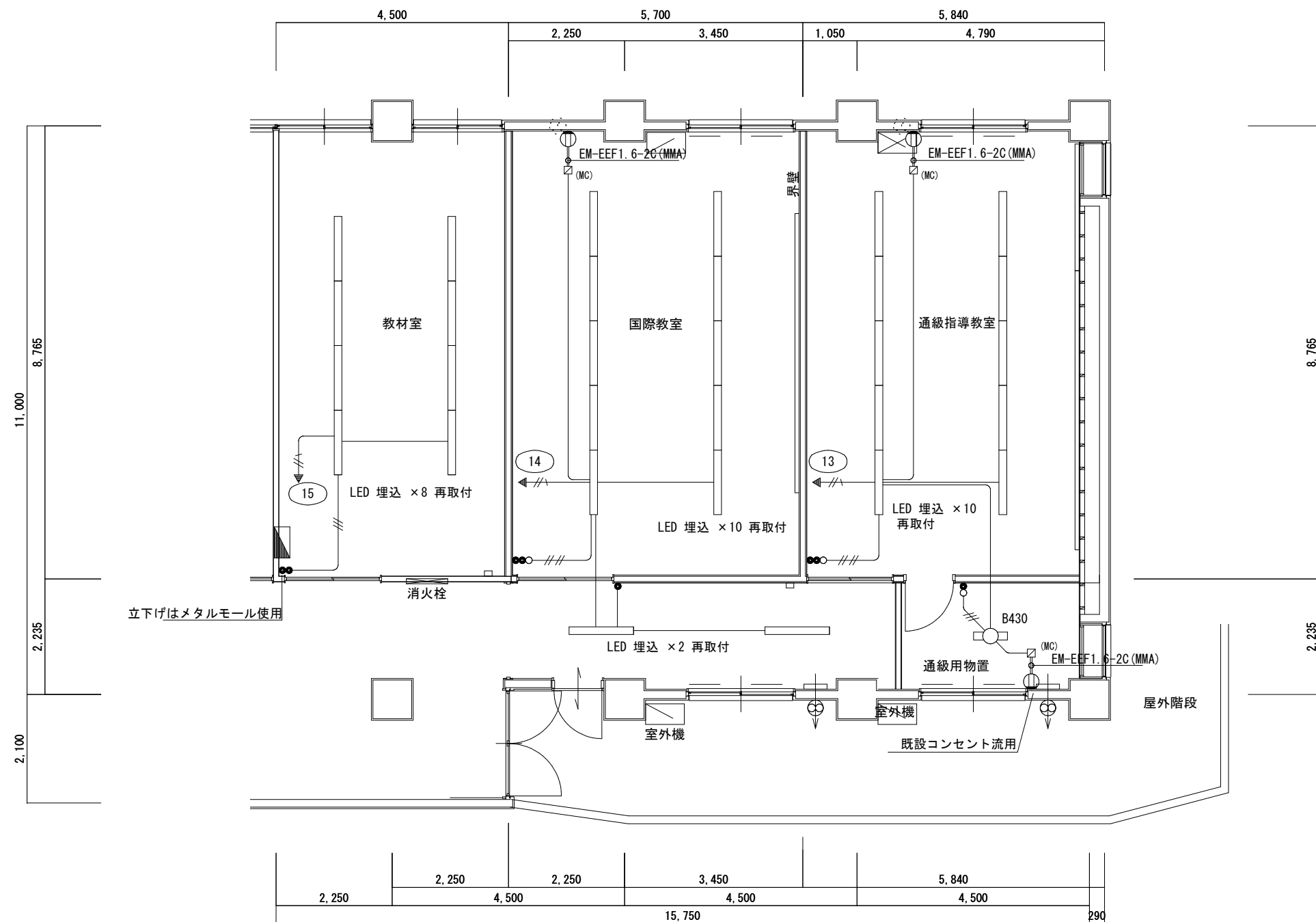







2階 教材室（改修後）



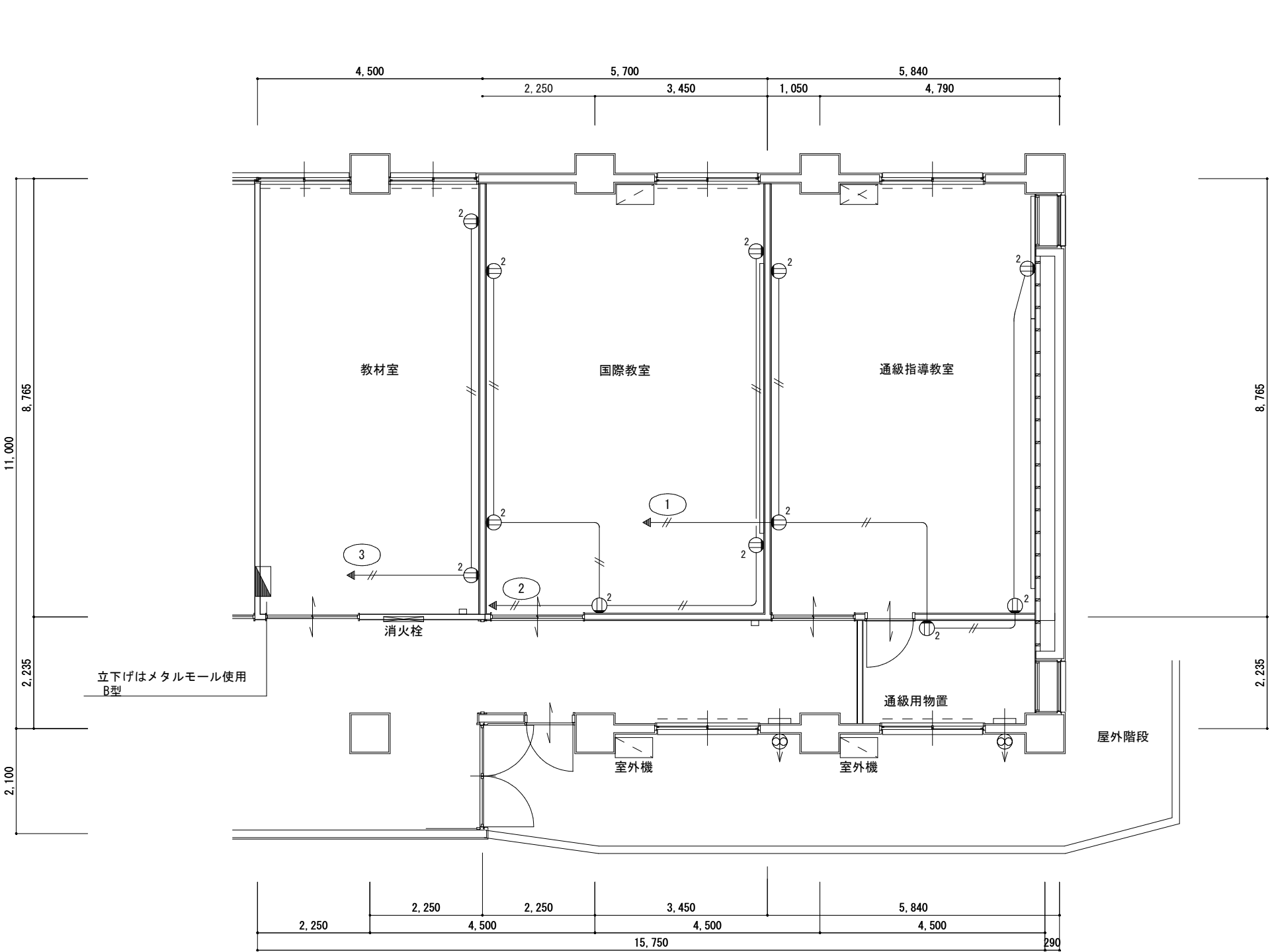
2階 教材室 平面図

備考	<div>(株)田端隆建築設計</div> <div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>		設計代表者		設計担当者		SCALE		工事名称 川越北小学校コンピューター室等改修工事	E-03 原因：A3
			一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352551 田端進也			A3 : 1/100			
							DATE			
							R7, 11			
						図面名称 電気設備平面図 2階教材室（撤去・改修）				



凡例		
記号	名 称	備 考
	LEDベースライト	埋込型 再取付
	LEDベースライト	直付型
	壁付換気扇	
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
⦿	タンブラスイッチ	1P15A×2
⦿	タンブラスイッチ	1P15A×2+L×1
⦿	タンブラスイッチ	1P15A×1+L×1
	壁付けコンセント	2P15A×1
	電灯分電盤	

注記		保護管
1. 図中記入なき配線は下記とする。		
———//———	EM—EEF 2. 0—3 C (1 E)	P F 2 2
———	EM—EEF 1. 6—3 C (1 E)	P F 2 2
———// ^{2.0} ———	EM—EEF 2. 0—2 C	P F 1 6
———//———	EM—EEF 1. 6—2 C	P F 1 6
———///———	EM—EEF 1. 6—3 C	P F 2 2
———///———	EM—EEF 1. 6—2 C x 2	P F 2 2
=====	1 種金属線び(MM1) MMA-A型	
<input checked="" type="checkbox"/> (MC)	1 種金属線び(MM1) コーナーボックス	
二重天井内はケーブルろがし配線とし、コンクリート部及び		
壁内立下り部は P F 管にて保護とする。		



凡例

記号	名 称	備 考
Ⓜ2	壁付けコンセント	2P15A×2
◼	電灯分電盤	

注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。		保護管
—//—	EM-EEF2.0-3C (1E)	PF22
—//—	EM-EEF2.0-2C	PF16
=====	1種金属線び(MM1) MMA-A型	
◻(MC)	1種金属線び(MM1) コーナーボックス	
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び		
壁内立下り部はPF管にて保護とする。		

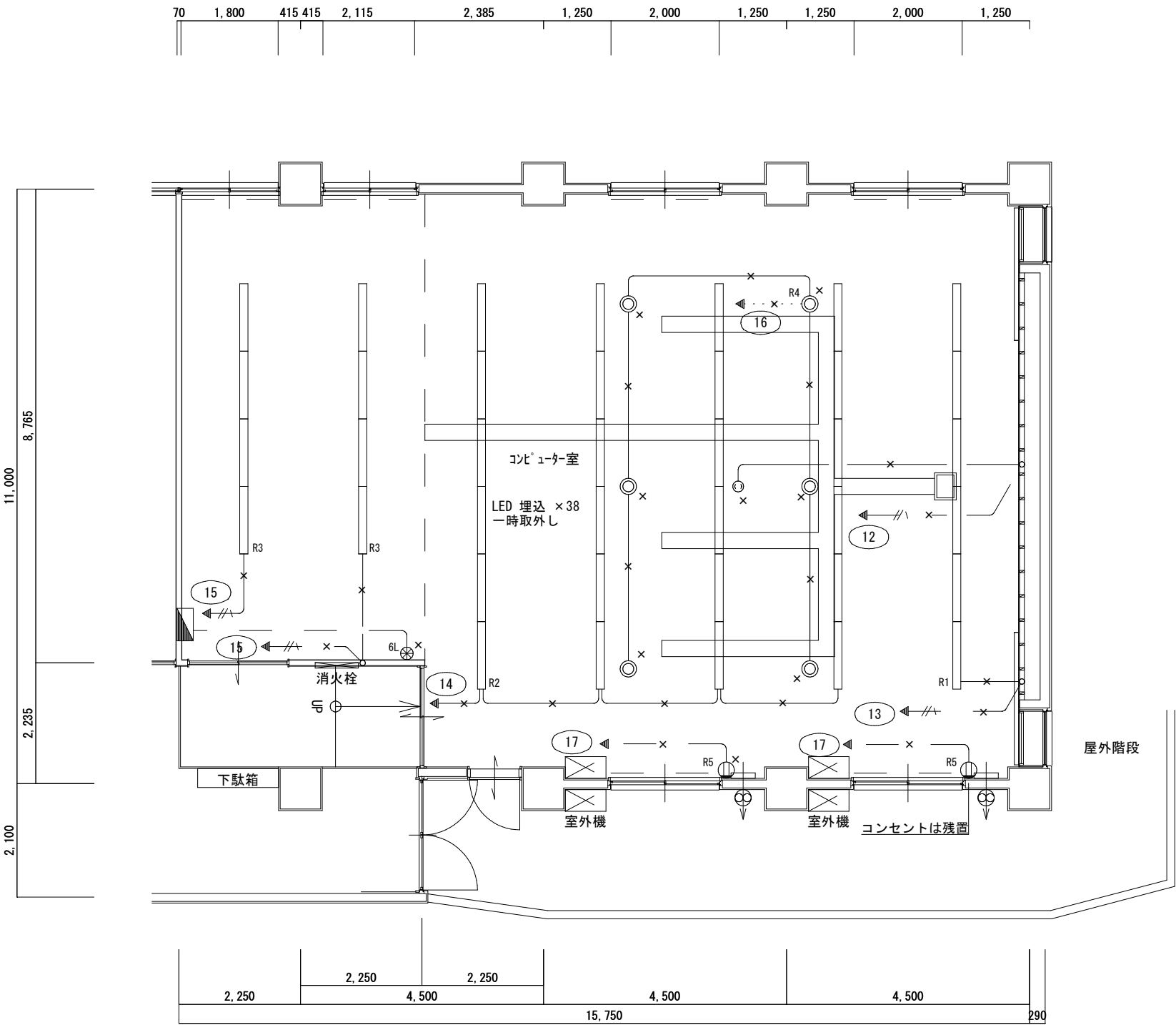
備	
考	

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者		設計担当者			
一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.352551 田端進也			

SCALE
A3 : 1/100
DATE
R7, 11

工事名称	川越北小学校コンピューター室等改修工事
図面名称	3階 コンセント設備図(改修後)



凡例

記号	名 称	備 考
	LEDベースライト	埋込型
	ダウンライト	150φ
	天井埋込換気扇	
	リモコンスイッチ	6回路
	壁付けコンセント	2P15A×1
	天井付けコンセント	2P15A×1
	電灯分電盤	

記入なき配線は下記による。

	VVF 2.0-3C	撤去
	VVF 1.6-2C	撤去
	VVF 2.0-3C	撤去
	VVF 1.6-2C	撤去

×印は撤去を示す。

備考

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

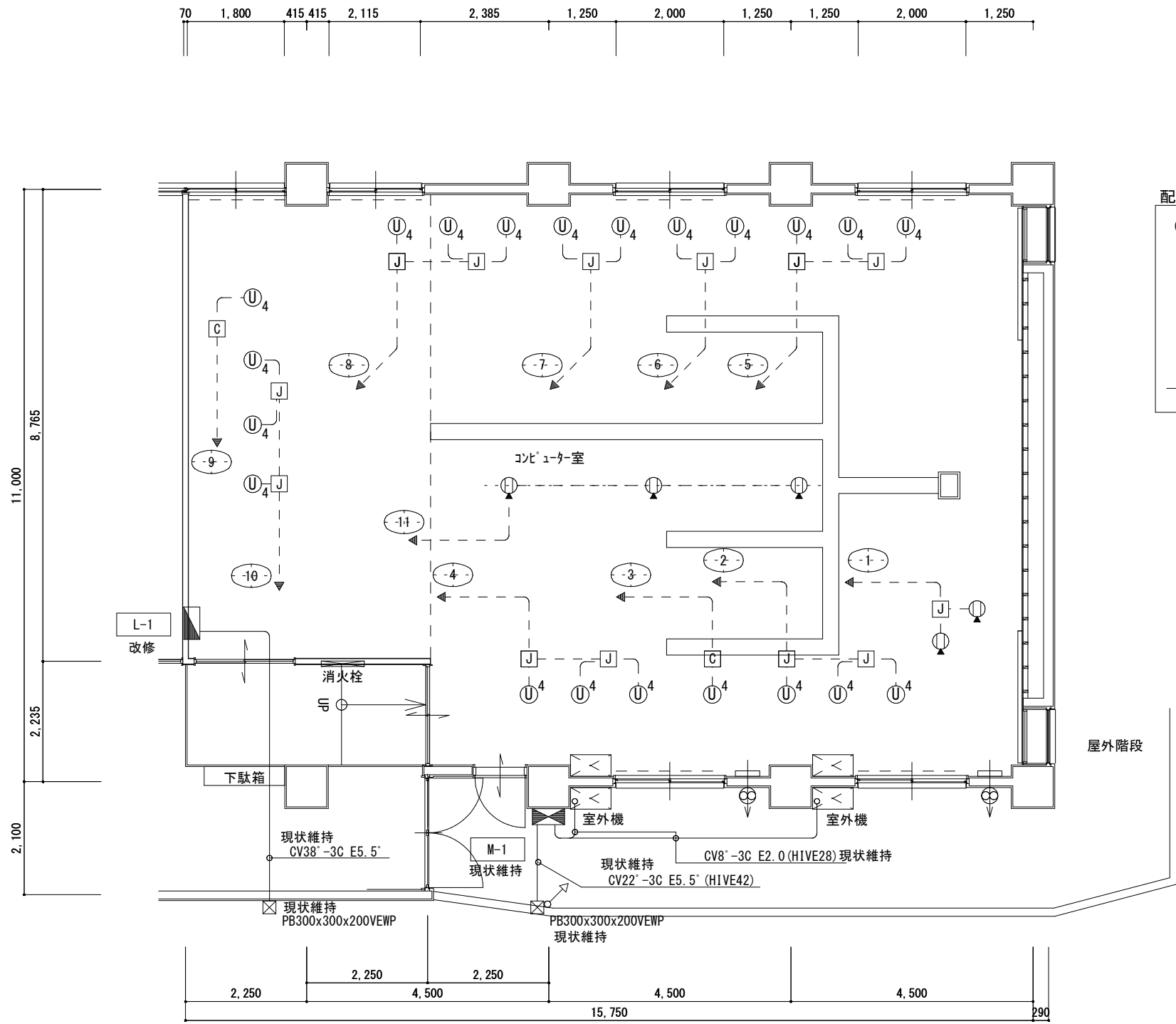
設計代表者
一級建築士
No.352551
田端進也

設計担当者
一級建築士
No.352551
田端進也

SCALE
A3 : 1/100
DATE
R 7, 1 1

工事名称 川越北小学校コンピューター室等改修工事
図面名称 3階電灯設備平面図(改修前)

E-06
原図 : A3

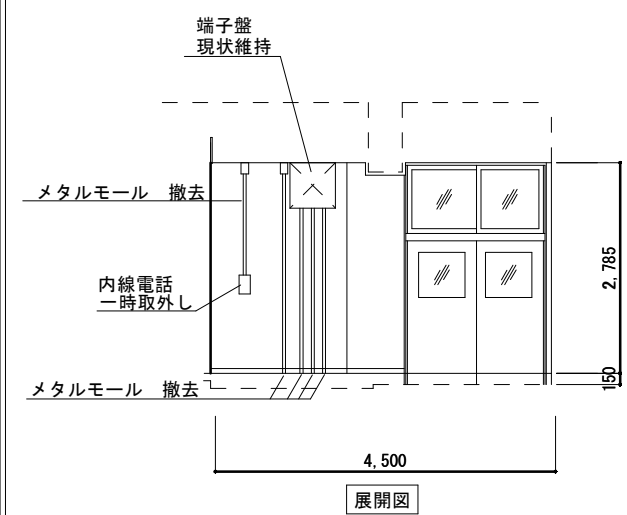


- 配線器具表 全て撤去
- U₄ 0Aタップ 2P15A 4個口 抜け止、7-ス付き
ケーブル3m キャップ付き
 - J ジョイントボックス2分岐
 - C コネクタ
 - P フロアコンセント 2P15A 抜け止、7-ス付き
 - VVF 2.0-2C

備考	

<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div><div>三重県知事登録第1ー861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div></div>	設計代表者		設計担当者			SCALE		工事名称 川越北小学校コンピューター室等改修工事	E-07
	一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352551 田端進也	A3 : 1/100		DATE	図面名称 3階コンセント設備平面図(改修前)	原図: A3		
			R 7, 1 1						

3階 特別教室（改修前）



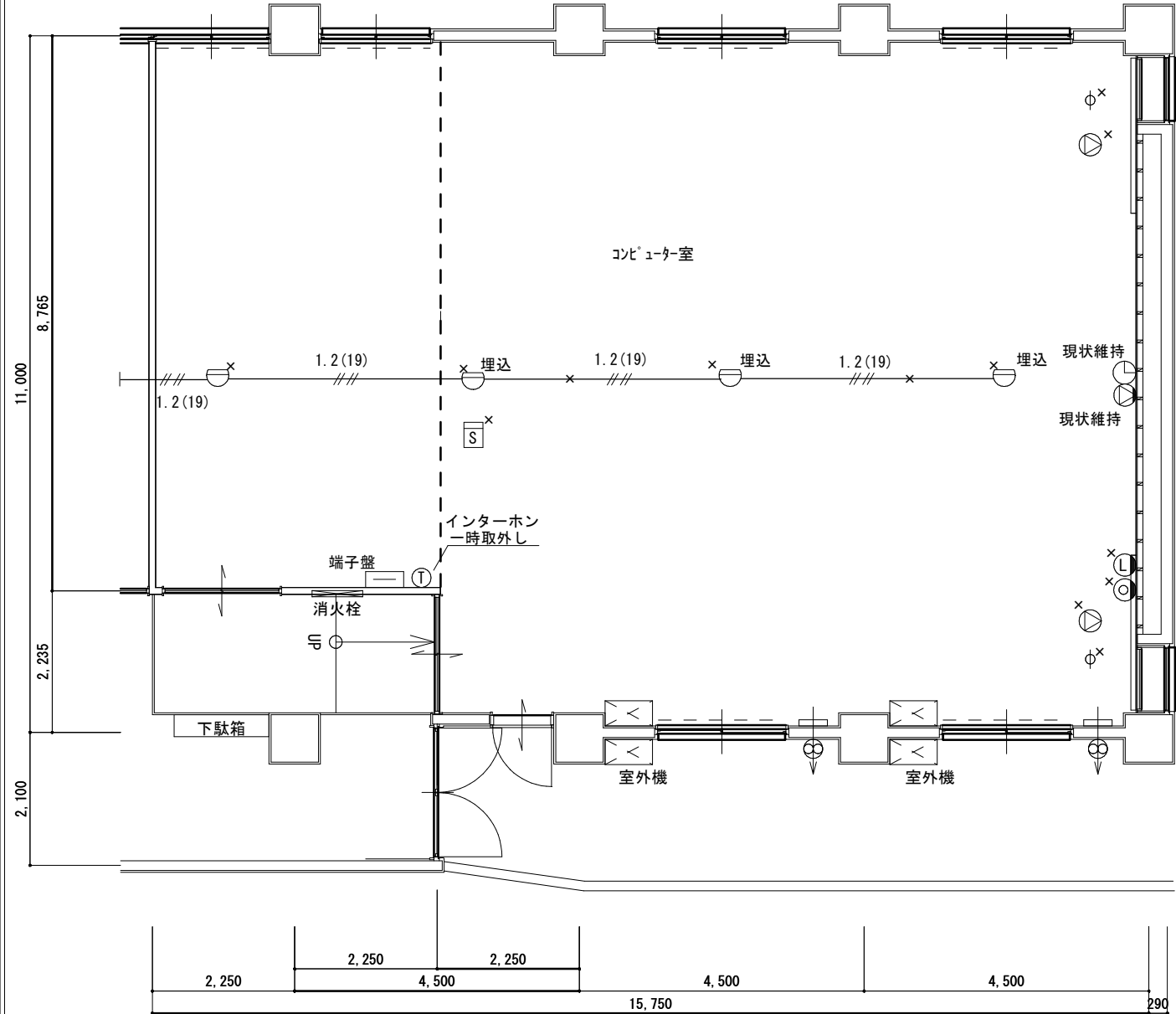
凡例

記号	名 称	備 考
⊙	壁掛けスピーカー	一時取外し
⊕	天井付けスピーカー	撤去
⌚	子時計	一時取外し
⊖	差動式スポット型感知器	撤去
⊕	ワイヤレスアンテナ	撤去
⊙	直列ユニット	撤去
Ⓛ	情報コンセント	撤去
⊖	端子盤	現状維持

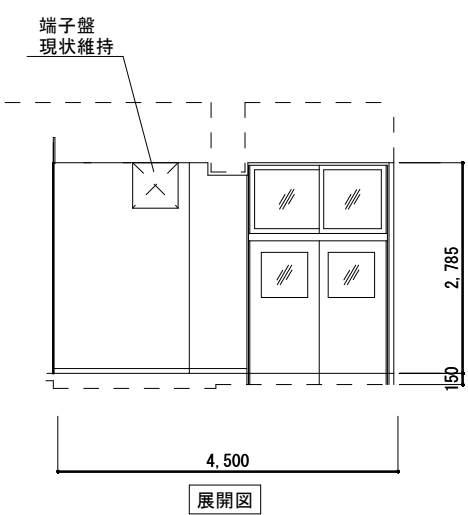
×印は撤去を示す。

展開図

不要な配線は撤去のこと



3階 特別教室（改修後）

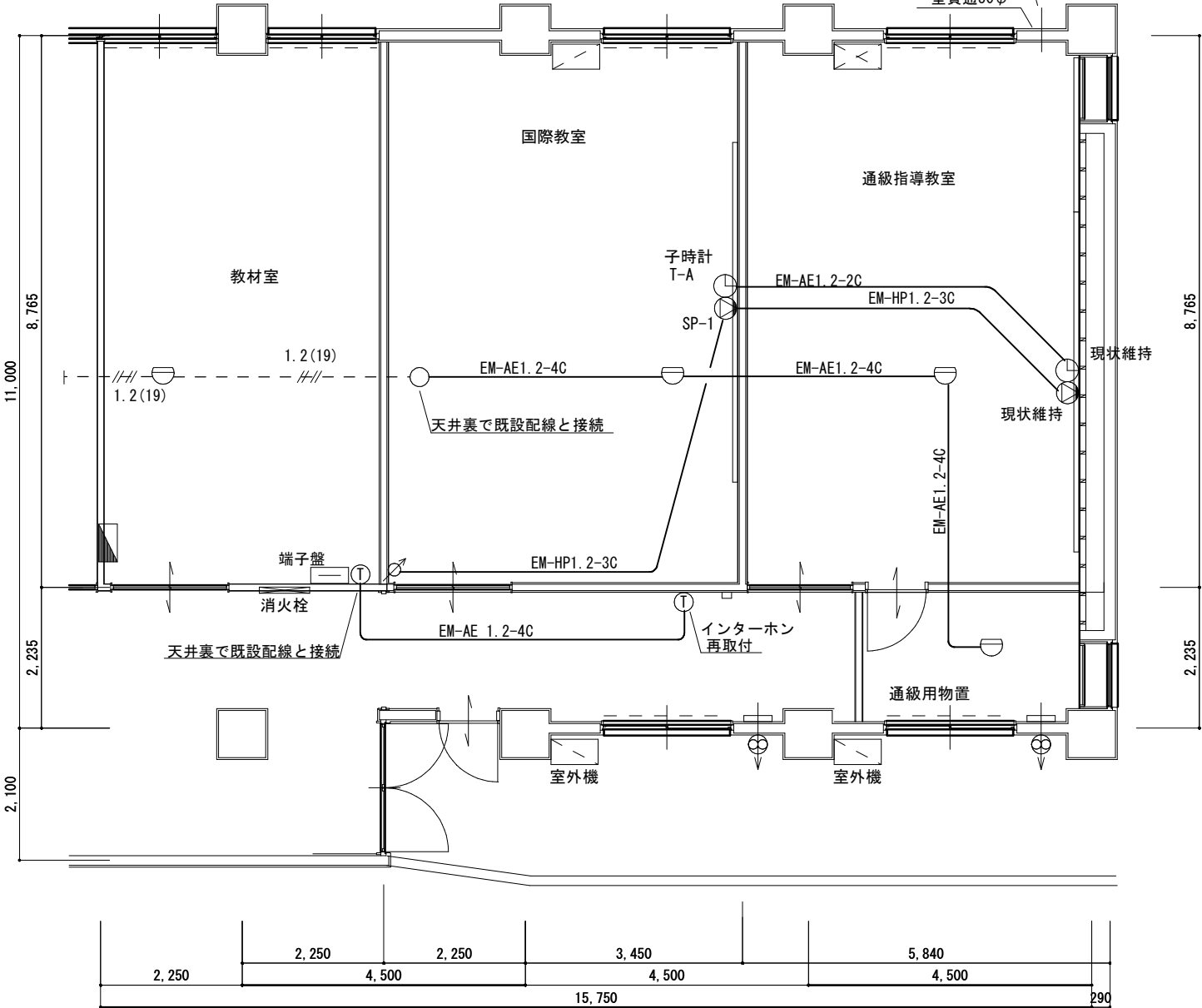


凡例

記号	名 称	備 考
⊙	壁掛けスピーカー	再取付
⊕SP-1	天井付けスピーカー	新設
⌚	子時計	再取付
⌚T-A	子時計	新設
⊖	差動式スポット型感知器	新設
⊕	アッテネーター	新設
⊖	端子盤	現状維持

エントランスクャップ取付
VE-22

壁貫通30φ



備考	

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	一級建築士 No.352551 田端進也

SCALE	A 3 : 1/100
DATE	R 7, 1 1

工事名称	川越北小学校コンピューター室等改修工事
図面名称	3階 弱電設備図(改修前・後)

E-08
原図 : A3

[illegible]

備 考	・	 (株)田端隆建築設計 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也	設計代表者 一級建築士 No.352551 構造設計一級建築士 No.8984 井上貴智 田端進也	設計担当者 一級建築士 No.32033 構造設計一級建築士 No.8984 井上貴智	SCALE	工 事 名 称 川越北小学校コンピューター室等改修工事 図 面 名 称 機械設備工事 特記仕様書(1)	M-01 原図:A3
	・				A3: NS		
	・				DATE		
	・				R7.11		

備考				<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div></div> <div>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也</div>	設計代表者		設計担当者			SCALE		工事名称 川越北小学校コンピューター室等改修工事	M-02	
					一級建築士		一級建築士				A3 : NS			図面名称 機械設備工事 特記仕様書(2)
					No.352551		構造設計一級建築士				DATE			
					田端進也		No.8984				R7.11			
													原図: A3	

空調機器表

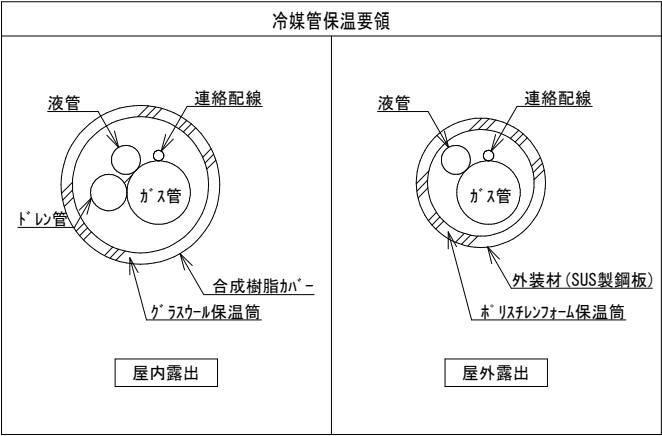
記号	機器名称	形式・仕様			定格電圧	消費電力	台数	備考、付属品
						冷房／暖房		
						(kW)		
PAC-1	【既設】 空冷ヒートポンプ式パッケージ形空調和機	形式	床置形		3φ-200V	5.42/4.65	2	場所：2階　コンピューター室×2
		定格冷房能力	14.0	kW				ワイヤードリモコン、木台、他一式
		定格暖房能力	16.0	kW				
		電動機出力	2.50	kW				【移設】屋内機のみ
								機器型番：RPV-AP160GH5

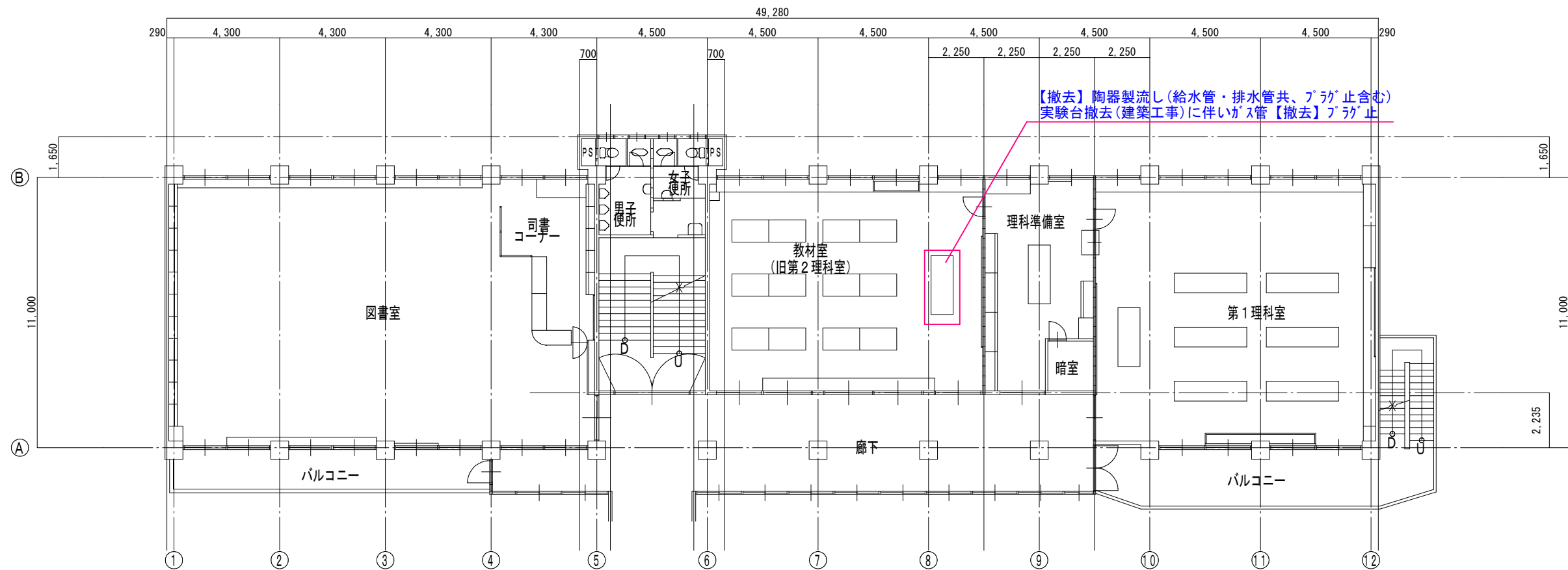
換気機器表

記 号	機 器 名 称	仕 様	定格電圧	消費電力 (W)	台 数	設 置 場 所	備 考
VF-1	ハ゜イ゜用ファン	型 式 ： 格子タイプ	1φ100V	2.0	2	国際教室	
		能 力 ： 100φ×50CMH×10Pa				通級指導教室	
		付属品 ： SUS製ウヰザ゛ーカバー-(FD、防鳥網付)、他一式					

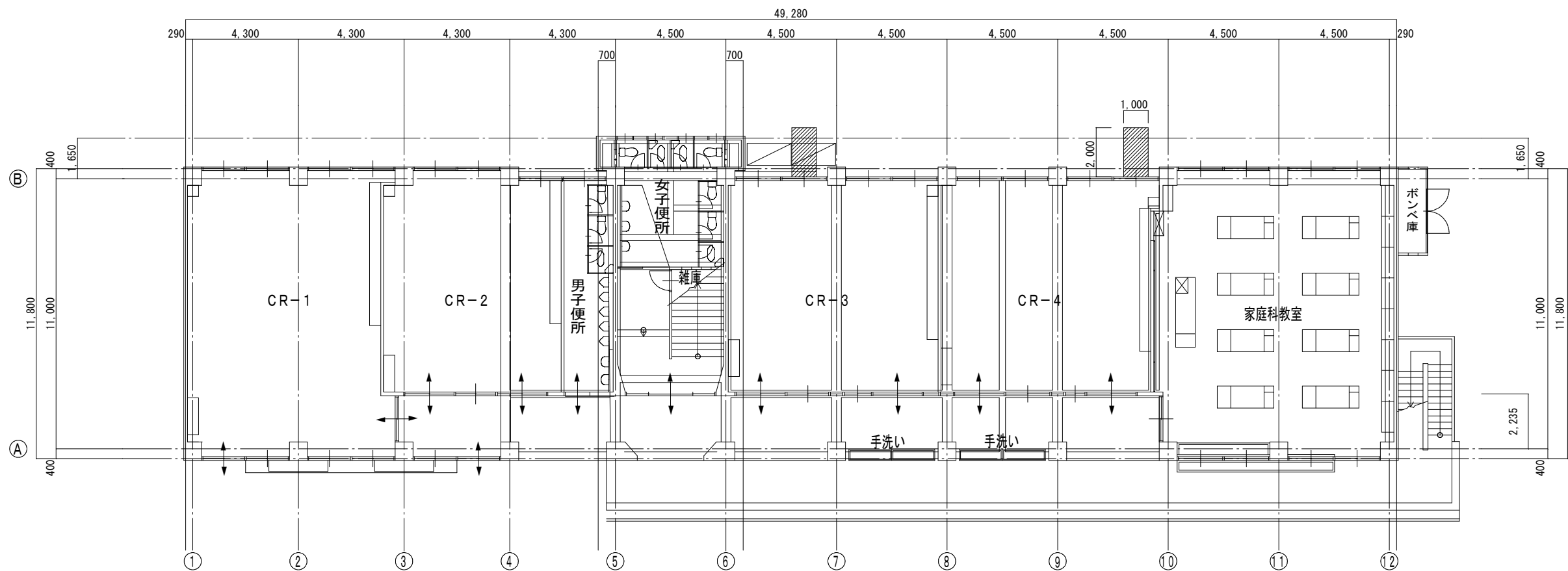
換気計算書

階	室名	面積	天井高さ	気積	24時間換気量		法定風量V=20Af/Nによる		設計風量		備考
		m ²	m	m ³	回	m ³ /h	N	m ³ /h	風量	記号	
3	国際教室	49.96	2.90	144.88	0.3	44			50	VF-1	24時間設計風量　50CMH　>　必要換気量　44CMH　よって OK
3	通級指導教室	51.19	2.90	148.45	0.3	45			50	VF-1	24時間設計風量　50CMH　>　必要換気量　45CMH　よって OK

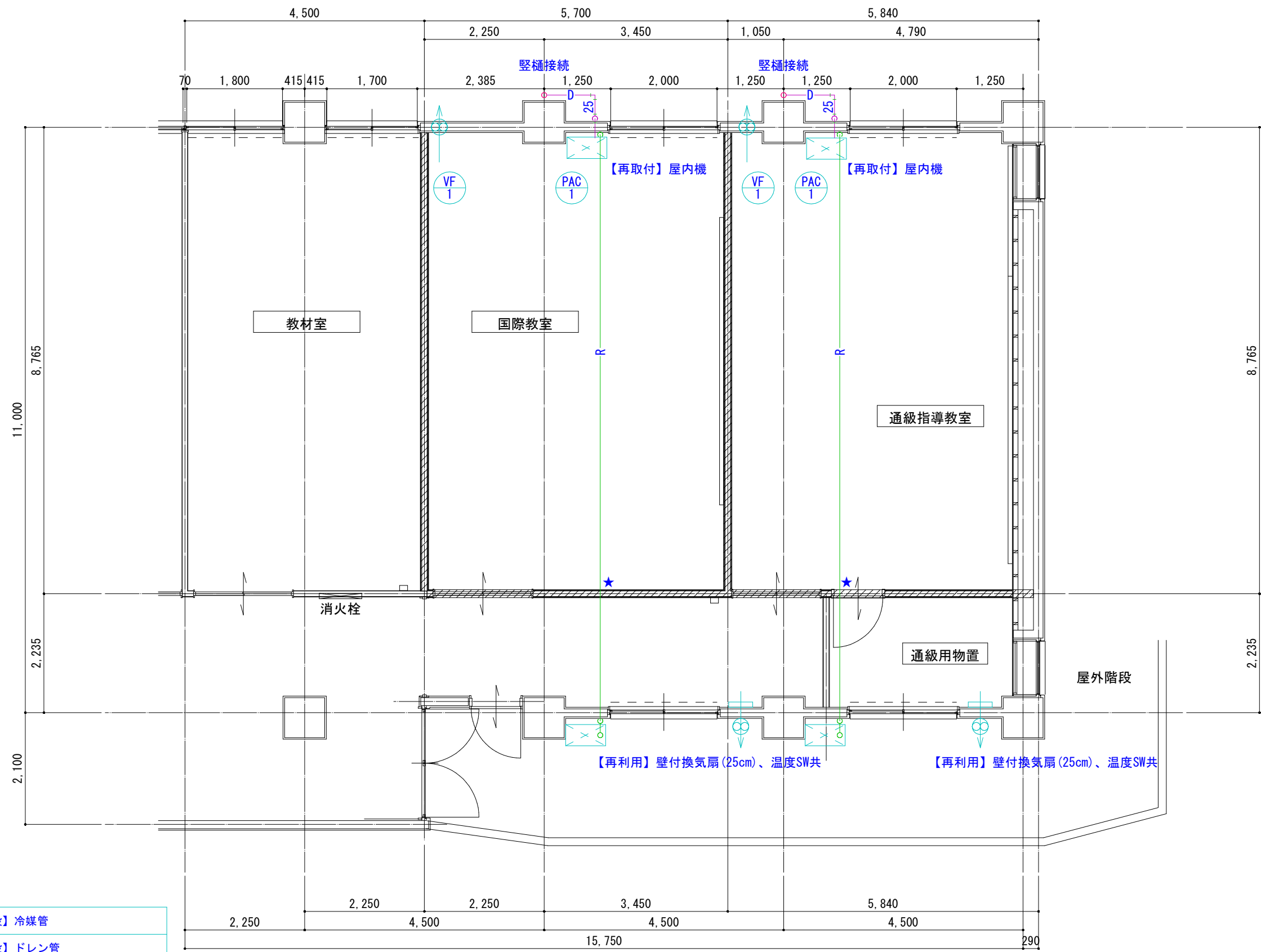




2 階平面図 S=1:200




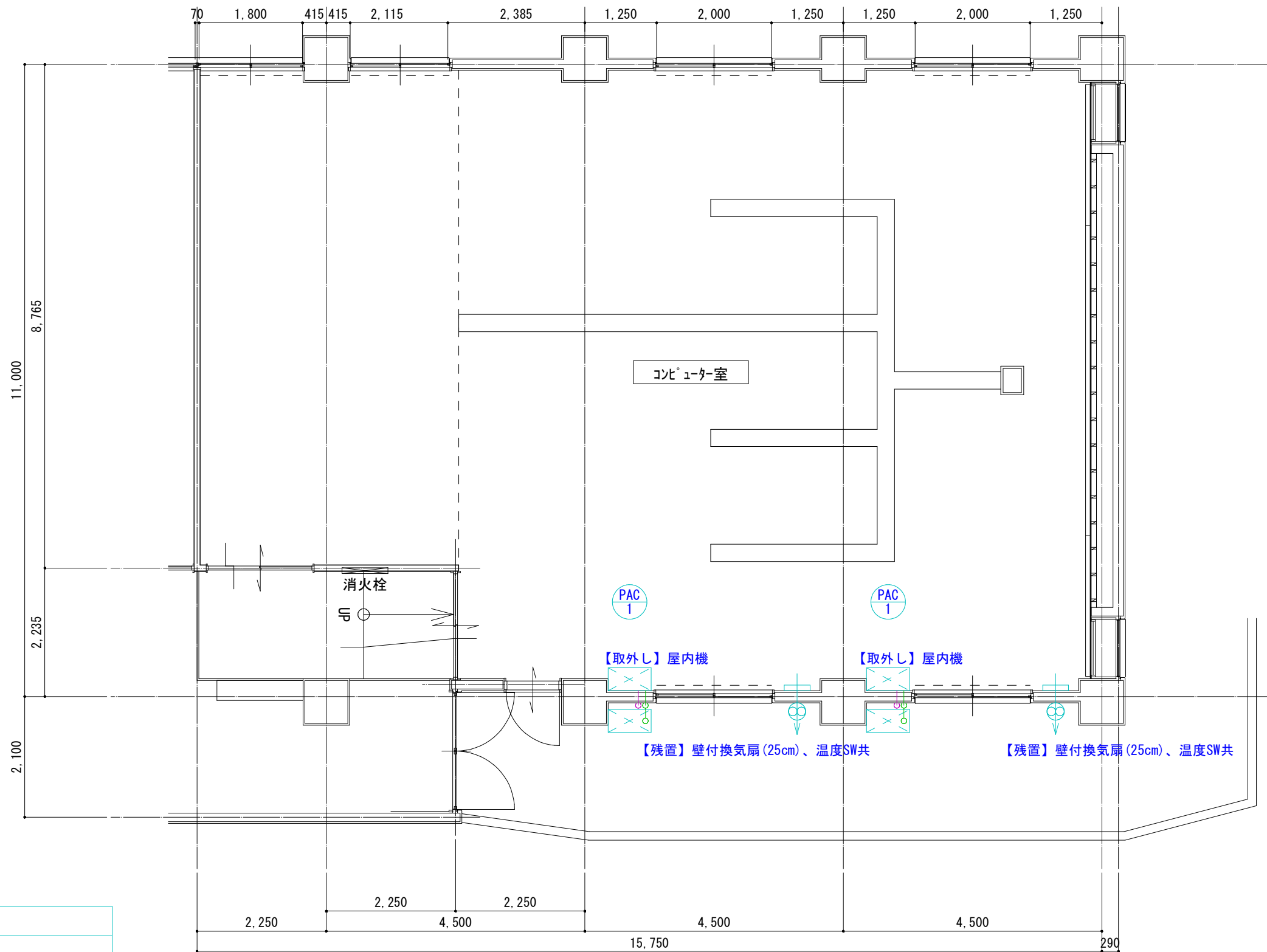
1 階平面図 S=1:200



凡例	
R	【新設】冷媒管
D	【新設】ドレン管
★	区画貫通処理

冷媒管（液管：9.52φ、ガス管：15.88φ、内外連絡線：EM-CEES1.25mm2-2C）

備考											 (株)田端隆建築設計		設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 川越北小学校コンピューター室等改修工事		M-05 原図：A3
											一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.352551 田端進也				A3 : 1/80						
																	DATE		図面名称 空調換気設備 3階平面詳細図(改修後)				
																	R 7, 1 1						



凡例

R	【撤去】冷媒管
D	【撤去】ドレン管

冷媒管（液管：9.52φ、ガス管：15.88φ、内外連絡線：EM-CEES1.25mm2-2C）

備 考					<div><div><div></div></div><div>(株)田端隆建築設計</div></div>				設計代表者		設計担当者				SCALE		工事名称 川越北小学校コンピューター室等改修工事	M-06
					三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也				一級建築士 No.352551 田端進也		一級建築士 No.352551 田端進也		A3 : 1/80					
									DATE		R 7, 1 1		図面名称 空調換気設備 3階平面詳細図(改修前)		原図：A3			